

事業報告書

(平成22～26年度)

東備西播定住自立圏形成推進協議会

事業報告書（平成22～26年度）

目次

1	生活機能の強化に係る政策分野	1
ア	医療	1
	（ア）地域医療の連携	1
イ	教育	7
	（ア）生涯学習の推進	7
	（イ）学校給食の広域連携	29
ウ	産業振興	31
	（ア）地産地消の推進及び地域ブランドの発掘	31
	（イ）観光振興の推進	35
	（ウ）鳥獣害防止総合対策	39
	（エ）企業誘致の推進	41
2	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	44
ア	地域公共交通	44
	（ア）地域公共交通ネットワークの構築	44
イ	ICTインフラ整備	50
	（ア）地域情報ネットワークシステムの構築	50
ウ	地域内外の住民との交流・移住促進	53
	（ア）住民交流	53
	（イ）移住の促進	63
3	圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	67
ア	圏域内の職員等の交流	67
4	事業費一覧表（平成22～26年度）	77

1 生活機能の強化に係る政策分野

ア 医療

(ア) 地域医療の連携

○取組の内容

圏域の中核的病院である赤穂市民病院を中心として、圏域内の公立病院等が連携を図り、医療体制の確保、充実に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 医療関係者等を対象とした研修を赤穂市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実にを図るため、医療情報等の交換・協議の場を赤穂市と連携して運営する。	(a) 医療関係者等を対象とした研修を備前市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実にを図るため、医療情報等の交換・協議の場を設置し、運営する。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 医療関係者等を対象とした研修を上郡町と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実にを図るため、医療情報等の交換・協議の場を上郡町と連携して運営する。	(a) 医療関係者等を対象とした研修を備前市及び赤穂市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実にを図るため、医療情報等の交換・協議の場を備前市及び赤穂市と連携して運営する。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	京都大学等から大学教授を招へいし、4公立病院（赤穂市民病院、備前病院、日生病院、吉永病院）の医師、看護師ほか医療技術者を対象に、先端医療の現状等について講演、指導等を仰ぐ連携研究会事業を行う。					
効果	公立病院の医師、看護師ほか医療技術職員の資質向上を図るとともに、医療関係者の相互理解を深め、今後の病院間連携・協力体制を構築する基礎とする。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	287,971	98,579	676,235	169,158	137,000	1,368,913

平成22年度事業の内容

◆第1回研究会

公立病院だけでなく圏域の医療現場で働く職員一人ひとりの危機管理能力を高めるために、医療安全研修を実施

- とき : 平成22年7月16日（金）午後6時から
- ところ : 赤穂市民病院 3階 講義室
- 講師 : キャリア・メディカル研究所 所長 木村 有子
- テーマ : コミュニケーションエラー
- 参加数 : 108名（赤穂市 83名、備前市 25名）

◆第2回研究会

兵庫県立尼崎病院から公立病院の経営等について公演、指導を仰ぐ連携研究会事業を実施

と き : 平成22年9月25日(土) 午前9時から
と ころ : 赤穂市民病院 3階 講義室
講 師 : 兵庫県立尼崎病院 院長 藤原 久義
テ ー マ : 公立病院の運営について
参加数 : 144名(赤穂市 136名、備前市 8名)

◆第3回研究会

「現場での危険予知の気付きと対策」を On The Job で実践できるスキルを確実に身につけるために、医療事故防止のための危険予知研修を実施

と き : 平成23年1月28日(金) 午後6時から
と ころ : 赤穂市民病院 3階 講義室
講 師 : メディカルセーフティコーチ 柳生 邦雄
テ ー マ : 医療事故防止講座「医療 KYT・4R法」
参加数 : 88名(赤穂市 77名、備前市 11名)

平成23年度事業の内容

◆第1回研究会

入院患者が死亡するという医療事故発生時にとった対応、その後の事故を未然に防ぐための医療安全対策、安全管理体制、さらには院内だけでなく地域での取組みも含めた危機管理研修を実施。

と き : 平成23年1月18日(金) 午後5時30分から
と ころ : 赤穂市民病院 3階 講義室
講 師 : 市立八幡浜総合病院 看護部長 清水 美智子
テ ー マ : 危機管理研修
参加数 : 87名(赤穂72名、備前3名、日生8名、吉永4名)

◆第2回研究会

最新の心臓血管手術について、講演会を実施。

と き : 平成24年3月29日(木) 午後6時から
と ころ : 赤穂市民病院 3階 講義室
講 師 : 神戸大学医学部心臓血管外科学 教授 大北 裕
テ ー マ : 大動脈解離について
参加数 : 92名(医師28名、看護師8名、医療技術員他56名)

平成24年度事業の内容

●病院及び介護施設の関係者を対象にした集合研修を実施

講演者 : 臨床心理士 品川 博二氏
内 容 : 人間関係でのストレスに対応するためのメンタルヘルス研修
と ころ : 赤穂市民病院 講義室

【第1回】と き : 平成24年9月14日(金) 午後6時から
参加数 : 赤穂市内67人(市民病院55、他施設12)、備前市内6人 計73人
【第2回】と き : 平成24年10月19日(金) 午後6時から

<p>参加数 : 赤穂市内41人(市民病院36、他施設5)、備前市内10人 計51人</p> <p>【第3回】とき : 平成24年11月16日(金) 午後6時から</p> <p>参加数 : 赤穂市内38人(市民病院31、他施設7)、備前市内12人 計50人</p> <p>【第4回】とき : 平成24年12月7日(金) 午後6時から</p> <p>参加数 : 赤穂市内46人(市民病院34、他施設12)、備前市内5人 計51人</p> <p>●手術、放射線治療、化学療法、免疫療法などの「がん治療法」、がん患者支援のための「チーム医療」などについて、主に病院職員等を対象に講演会を実施</p> <p>とき : 平成25年3月14日(木) 午後6時から</p> <p>ところ : 赤穂市民病院 3階 講義室</p> <p>講師 : 兵庫県立がんセンター 院長 西村 隆一郎</p> <p>テーマ : がんの検診と予防</p> <p>参加数 : 赤穂市内39人(市民病院36、他施設3)、備前市内2人 計41人</p>
平成25年度事業の内容
<p>●病院及び介護施設の関係者を対象にした集合研修を実施</p> <p>講演者 : 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 特認教授 濱田 康弘</p> <p>内容 : 医療における栄養管理の重要性～NST活動を中心とした取り組み～</p> <p>とき : 平成25年12月18日(水) 午後6時30分から</p> <p>ところ : 赤穂市民病院 講義室</p> <p>参加者 : 院内43名、備前28名、上郡5名、その他2名 合計78名</p>
平成26年度事業の内容
<p>●病院及び介護施設の関係者を対象にした集合研修の実施を予定</p> <p>講演者 : 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 教授 備酒 伸彦</p> <p>内容 : これからの高齢者のケアを考える</p> <p>とき : 平成26年10月28日(火) 午後6時30分から</p> <p>ところ : 赤穂市民病院 講義室</p> <p>参加者 : 院内外より 約80名程度</p>
事業の評価
<p>毎年、先進事例等の講演を通じて、医療技術職員の資質向上を図るとともに、病院、医療関係者の相互理解と連携・協力体制の向上に効果がある。今後は事業内容が類似している「医療情報研究会事業」を本事業に統合し、一本化して事業を進めていく。</p>
達成状況
<p><input checked="" type="checkbox"/>達成 <input type="checkbox"/>一部達成 <input type="checkbox"/>検討中</p>
今後の方向性
<p><input checked="" type="checkbox"/>継続(拡充) <input type="checkbox"/>継続(現状維持) <input type="checkbox"/>継続(改善) <input type="checkbox"/>継続(縮小)</p> <p><input type="checkbox"/>継続(統合) <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>終了</p>

事業名	医療情報研究会事業					関係市町	
						赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	医療連携研究会事業で講演、指導を受けた内容や圏域内において課題となる共通事案について、研究・発表等により情報を共有し、連携を深める。また、住民、行政そして医療関係者も含めて危機的な状況にある地域医療の現状と課題について、専門家の講演を行う。						
効果	圏域内において医療情報を共有化し、圏域全体の医療サービスの向上を図るとともに、医療関係者の相互理解を深め、今後の病院間連携・協力体制を構築する基礎とする。						
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計	
	2,920	8,580	299,443	—	224,000	534,943	
平成22年度事業の内容							
赤穂市民病院看護部の研修計画に圏域内病院職員が参加し、相互理解を深めるとともに、今後の研修計画策定に向け意見交換を行った。							
【研究会】							
兵庫県立粒子線センター看護師から、看護倫理について指導を仰ぎ、今後の看護実践の場で活かす研究会を実施した。							
とき	平成23年2月19日（土）午前10時から						
ところ	赤穂市民病院 3階 講義室						
指導者	兵庫県立粒子線センター 藤本 美生 看護師						
内容	看護倫理について						
参加数	28名（赤穂市 25名、備前市 3名）						
平成23年度事業の内容							
●第1回研究会							
プリセプティールとプリセプターの役割・サポートについて学ぶ							
とき	平成24年1月28日（土）午前9時から						
ところ	赤穂市民病院 3階 講義室						
講師	キャリアメディカル研究所 木村 有子						
参加数	51名（看護部34名、医療技術部14名、備前2名、吉永1名）						
内容	後輩を育成する立場であるプリセプターとしての役割とサポートする場合について理解し、実践に結びつける。						
●第2回研究会							
がん患者に対する看護について、倫理の点から学ぶ							
とき	平成24年2月2日（木）午後6時から						
ところ	赤穂市民病院 3階 講義室						
講師	西はりま粒子線センター がん看護専門看護師						
参加数	36名（看護部36名）						
平成24年度事業の内容							
高齢化や医師の厳しい労働条件など医師不足の背景を解説したうえで、最新の医療知識が得られ、対応にゆとりがある病院に医師が集まるという現状から、受診態度の悪い地域は避けられている。医師の働く場の快適性を上げる設備投資が必要であると講演。							
とき	平成24年7月7日（土）午後3時から						
ところ	赤穂市文化会館 小ホール						

講演者 : 城西大学経営学部 伊関 友伸 教授 テーマ : 地域医療 再生への処方箋 参加数 : 首長、議員含め約230名
平成25年度事業の内容
●NST (栄養管理サポートチーム) 研修会を実施 内容 : ① 栄養支援は何故必要か? ② 赤穂市民病院でのNST活動 ③ 今後の研修会の開催について ところ : 赤穂市民病院 講義室 とき : 平成26年3月27日(木) 午後6時30分から 参加者 : 院内 37名、院外 4名 合計41名
平成25年度事業の内容
実施内容検討中
事業の評価
圏域内における医療情報の共有化、相互理解、連携・協力という目的については一定の効果があったが、「医療連携研究事業」と事業内容等が類似している。このため、本事業は今年度限りとし、今後は「医療連携研究会事業」に一本化して事業を進めていく。
達成状況
<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 検討中
今後の方向性
<input type="checkbox"/> 継続(拡充) <input type="checkbox"/> 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> 継続(改善) <input type="checkbox"/> 継続(縮小) <input checked="" type="checkbox"/> 継続(統合) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終了

事業名	圏域住民診療支援事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	備前市民及び上郡町民が圏域の中核病院である赤穂市民病院で出産した場合の助産料について、赤穂市民が負担する額と同額とする。					
効果	備前市及び上郡町では出産できる施設がないため、赤穂市民病院を含め市町外の施設での出産をせざるを得ない状況となっている。さらに、赤穂市民病院において、赤穂市民と市外の人の助産料に格差があるため、圏域外の施設での出産を望む人が多い。このため、圏域内住民の助産料を同一とし、妊婦の負担を軽減することにより、安心して生み育てることができる環境づくり及び圏域の活性化に寄与する。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	1,143,000	1,480,000	2,623,000
平成25年度事業の内容						
年間の実施状況						
備前市	16件		625,500円			
上郡市	13件		517,500円			
計	29件		1,143,000円			
平成26年度事業の内容						
実施状況(平成26年4月～9月)						
備前市	4件		157,500円			
上郡市	12件		481,500円			
計	16件		639,000円			
事業の評価						
圏域内住民の助産料を同一化し妊婦の負担軽減を図っており、安心して産み育てることができる環境づくりに効果がある。						
達成状況						
<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 検討中						
今後の方向性						
<input type="checkbox"/> 継続(拡充) <input checked="" type="checkbox"/> 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> 継続(改善) <input type="checkbox"/> 継続(縮小)						
<input type="checkbox"/> 継続(統合) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終了						

イ 教育

(ア) 生涯学習の推進

○取組の内容

圏域における生涯学習の機会拡大、文化・スポーツの振興、健康増進等を図るため、教育施設等の相互利用、文化・スポーツ等に関する情報の交換及び人材の交流等、文化・スポーツの交流等を推進する。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市と連携して、備前焼、世界遺産を目指す旧閑谷学校等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。	備前市と連携して、忠臣蔵、塩等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町と連携して、備前焼、世界遺産を目指す旧閑谷学校等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。	備前市と連携して、古代山陽道や赤松氏等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。

事業名	巡回展開催事業						関係市町
							赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	埋蔵文化財出土遺物の交流・展示会を次のとおり企画し、3市町の資料館等で巡回展示する。 平成22年度 新発見考古速報展（企画：上郡町） 平成23年度 自慢の遺跡展（企画：赤穂市） 平成24年度 備前焼展（企画：備前市）						
効果	圏内は古代より備前、播磨の接壤地帯にあり、学会的にも注目される地域である。このような圏域の特徴を再発見し、誇りの醸成に資するとともに、圏域内外の人的交流を活かした文化振興を図る。						
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計	
	494,137	482,763	465,603	—	—	1,442,503	
平成22年度事業の内容							
【実施内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・展示テーマ 埋蔵文化財巡回展「新発見考古速報展」 ・出展遺跡数 9遺跡（上郡3遺跡、赤穂4遺跡、備前2遺跡） 【実施場所及び日程】 <ul style="list-style-type: none"> ・上郡町 郷土資料館 平成22年 9月1日～10月 3日（30日間） ・赤穂市 旧坂越浦会所 平成22年10月6日～11月14日（35日間） ・備前市 加子浦歴史文化館 平成22年11月6日～12月12日（24日間） 【入館者数及び出展数】 <ul style="list-style-type: none"> ・上郡町 入館者数 384名 出展数 81点 ・赤穂市 入館者数 1,651名 出展数 108点 ・備前市 入館者数 358名 出展数 21点 							

平成 23 年 度 事 業 の 内 容

【展示テーマ】

埋蔵文化財巡回展「自慢の遺跡展」

【実施場所及び日程】

- ・上郡町 郷土資料館 平成23年 8月27日～ 9月25日 (26日間)
- ・赤穂市 旧坂越浦会所 平成23年 9月28日～10月31日 (29日間)
- ・備前市 埋蔵文化財管理センター 平成23年11月 3日～11月28日 (26日間)

【入館者数及び出展数】

- ・上郡町 入館者数 105名 出展数 79点
- ・赤穂市 入館者数 1,452名 出展数 80点
- ・備前市 入館者数 229名 出展数 69点

平成 24 年 度 事 業 の 内 容

【展示テーマ】

埋蔵文化財巡回展「備前焼 変容する伝統」

【実施場所及び日程】

- ・赤穂市 有年考古館 平成24年 9月 7日～ 9月24日 (18日間)
平成24年 9月 8日 ギャラリートーク
- ・上郡町 郷土資料館 平成24年 9月26日～10月14日 (19日間)
- ・備前市 埋蔵文化財センター 平成24年10月17日～11月 4日 (19日間)

【入館者数】

【出展数】

- ・赤穂市 入館者数 320名 出展数 21点
- ・上郡町 入館者数 341名 出展数 15点
- ・備前市 入館者数 200名 出展数 20点

事 業 の 評 価

2市1町の地域特性を埋蔵文化財から考えることにより、それぞれの市町の歴史の共通性・特徴を学ぶ機会を提供することができた。

市町により、来館者数のバラツキがあり、テーマの精査と広範な周知により、来館者の増加についての一層の取り組みが必要である。

達 成 状 況

- 達成 一部達成 検討中

今 後 の 方 向 性

- 継続 (拡充) 継続 (現状維持) 継続 (改善) 継続 (縮小)
継続 (統合) 休止 廃止 終了

事業名	文化施設収蔵資料公開・交流事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	関係市町の文化施設収蔵資料のうち「圏域ゆかりの画家・書家たち展」を、赤穂市文化とみどり財団へ委託して実施する。					
効果	圏域ゆかりの画家・書家たち展を開催することにより、圏域が誇る先人の足跡を探訪、顕彰し、誇りの醸成に資するとともに圏域における文化交流に寄与する。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	651,000	—	—	—	—	651,000
平成22年度事業の内容						
<p><開催実施内容></p> <p>期 間 平成22年8月25日(水)～10月18日(月) 開催日数48日</p> <p>場 所 赤穂市立美術工芸館 田淵記念館</p> <p>入館者数 744人</p> <p>展示テーマ 「東備西播定住自立圏ゆかりの画家・書家たち」</p> <p>出展数 赤穂市25点 備前市27点 上郡町22点</p> <p>展示説明会 平成22年9月19日(日)、平成22年10月10日(日)</p>						
事業の評価						
圏域ゆかりの画家・書家の作品について、圏域市町から作品を一同に会し展示することによって、圏域がほこる先人の遺徳を学び、圏域文化の顕彰とふるさとへの誇りの醸成、文化交流が図れた。						
達成状況						
<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 検討中						
今後の方向性						
<input type="checkbox"/> 継続(拡充) <input type="checkbox"/> 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> 継続(改善) <input type="checkbox"/> 継続(縮小) <input type="checkbox"/> 継続(統合) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終了						

事業名	指定文化財・文化施設等巡りツアー事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	行政と民間で実行委員会を設立し、参加者を募集して備前陶器窯跡、赤穂城跡、上郡町郷土資料館等3市町の指定文化財・文化施設等をバスで巡るツアーを実施する。					
効果	住民と行政の協働による実行委員会を設立して人的交流の裾野を広げるとともに、3市町の指定文化財・文化施設等を巡るツアーを実施して、各市町文化の相互理解を深める。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	486,000	490,000	460,000	275,225	437,000	2,148,225
平成22年度事業の内容						
【実施内容】						
実施日	平成22年9月11日(土)					
実施時間	9時～17時					
参加人数	121人、その他(随行7人、現地スタッフ12人)					
交流場所	閑谷学校近隣の青少年教育センター					
情報交換会	発表者 5人					
	*各施設で学芸員等による解説・説明を実施。					
	*各市町は、見学施設のいずれか1施設で副首長又は担当課長が歓迎。					
平成23年度事業の内容						
実施日	平成23年10月1日(土)					
実施時間	9時～17時					
参加人数	93人					
交流場所	閑谷学校					
情報交換会	発表者 3人					
	*各施設で学芸員等による解説・説明を実施。					
平成24年度事業の内容						
実施日	平成24年10月6日(土)					
実施時間	9時～17時					
参加人数	93人					
交流場所	上郡町生涯学習支援センター					
情報交換会	発表者 3人					
	*各施設で学芸員等による解説・説明を実施。					
平成25年度事業の内容						
1. 実施内容	坂越から御崎につながる歴史遺産の探訪と、山並み遊歩道の自然散策を兼ねて赤穂トレックウォークを実施。					
2. 実施日	平成26年3月23日(日)					
3. 実施時間	8:30～ 受付～					

	移動	(貸切バスにて坂越ふるさと海岸に移動)	
9:10~	開会式	(坂越の歴史紹介)	
9:20~	出発	(坂越ふるさと海岸)	
		坂越の歴史遺産探訪(旧坂越浦会所・まち並み館・鳥井町地藏堂・木戸門跡)	
		坂越・御崎山並み遊歩道(坂越・尾崎山境石跡)	
11:30~	ゴール	(野外活動センター)	
12:00~	閉会式		
4. 参加人数	175名(備前市28名・上郡町16名・赤穂市111名・その他20名)		
平成26年度事業の内容			
平成27年3月開催予定。			
事業の評価			
それぞれの地域の特徴ある歴史・文化に関するツアーや行事に共同参加することによって、圏域住民の歴史文化の相互理解の向上、人的交流、情報交換を促進するとともに、それぞれの地域での行事を盛り上げ、活性化を図ることができた。			
それぞれの市町における開催日等のスケジュール調整に苦慮した。			
達成状況			
<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 一部達成	<input type="checkbox"/> 検討中	
今後の方向性			
<input type="checkbox"/> 継続(拡充)	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(現状維持)	<input type="checkbox"/> 継続(改善)	<input type="checkbox"/> 継続(縮小)
<input type="checkbox"/> 継続(統合)	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了

事業名	伝統芸能・郷土芸能大会開催事業					関係市町	
						赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	関係市町及び賛助出演として開催地赤穂市の姉妹・友好都市である熊本県山鹿市、広島県三次市の伝統芸能・郷土芸能団体を一同に会した芸能大会を赤穂市文化とみどり財団へ委託して開催する。						
効果	圏域に存在する郷土芸能・伝統芸能団体を招へいし、圏域内外の出演者間及び鑑賞者間の交流を深めるとともに、伝統芸能についての相互理解を深める。						
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計	
	2,350,000	—	—	—	—	2,350,000	
平成22年度事業の内容							
<p><開催実施内容></p> <p>日時 平成22年10月24日(日) 13時開演(12時30分開場)</p> <p>場所 赤穂文化会館(ハーモニーホール) 大ホール</p> <p>団体数 11団体</p> <p>【赤穂市】 坂越盆踊り保存会、赤穂義士太鼓保存会、赤穂宝専寺恵比寿大黒舞保存会 鳥撫荒神社天和獅子舞保存会、</p> <p>【備前市】 日生甚九郎太鼓、春日神社獅子舞保存会、神根神社獅子舞保存会</p> <p>【上郡町】 高嶺神社獅子舞保存会、岩木大避神社獅子舞保存会、かみごおり円心太鼓</p> <p>【特別出演】 山鹿灯籠踊り保存会(熊本県山鹿市)</p> <p>出演者数 245人</p> <p>入場料 500円(全席自由)</p> <p>入場者数 900人(有料655人+出演者245人)</p> <p>キャッチフレーズ 郷土・伝統芸能まつりー響きあう、海と里ー</p>							
事業の評価							
圏域住民が、それぞれの伝統芸能・郷土芸能を持ち寄り、一同に会して披露・鑑賞することにより、それぞれの地域の文化の独自性と共通性を認識することにより、圏域内の相互理解・文化交流・人的交流が図られている。							
達成状況							
<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 検討中							
今後の方向性							
<input type="checkbox"/> 継続(拡充) <input type="checkbox"/> 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> 継続(改善) <input type="checkbox"/> 継続(縮小)							
<input type="checkbox"/> 継続(統合) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終了							

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町の住民が、定められた日（全国一斉）にどれだけ多くの人がスポーツや運動を行ったかを競い合う事業を、各市町でそれぞれ実行委員会を組織し、笹川スポーツ財団の補助金も得て実施する。					
効果	定住自立圏構想を住民へ周知するとともに、地域住民の仲間意識や連帯感を育み、スポーツや健康づくりに対する意識高揚と自治体・地域間交流の活性化を図る。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	600,000	600,000	600,000	—	—	1,800,000
平成22年度事業の内容						
<p>平成22年5月26日（水）、2市1町対抗で1日15分以上の運動をした住民参加率を競うチャレンジデーを各市町実行委員会主催により実施した。</p> <p><結果></p> <p>赤穂市の参加率 33.1% 3位 (参加人数：16,961人)</p> <p>備前市の参加率 35.7% 2位 (参加人数：14,002人)</p> <p>上郡町の参加率 36.3% 1位 (参加人数：6,314人)</p> <p>・平成22年5月27日（木）から平成22年6月2日（水）まで、庁舎のポールに上位順に市町旗を一週間掲示</p>						
平成23年度事業の内容						
<p>平成23年5月25日（水）、2市1町対抗で1日15分間以上の運動をしたか住民参加率を競うチャレンジデーを各市町実行委員会主催により実施した。</p> <p><結果></p> <p>備前市の参加率 43.8% 1位 (参加人数 16,926人)</p> <p>上郡町の参加率 42.0% 2位 (参加人数 7,217人)</p> <p>赤穂市の参加率 35.8% 3位 (参加人数 18,271人)</p> <p>・平成23年5月26日（木）、下位の市町長より上位の市町長にエールを交換。</p>						
平成24年度事業の内容						
<p>平成24年5月30日（水）、2市1町対抗で1日15分間以上の運動をしたか住民参加率を競うチャレンジデーを各市町実行委員会主催により実施した。</p> <p><結果></p> <p>赤穂市の参加率 61.9% 1位 (参加人数 31,602人)</p> <p>上郡町の参加率 48.5% 2位 (参加人数 8,196人)</p> <p>備前市の参加率 42.0% 3位 (参加人数 16,041人)</p> <p>・平成24年5月31日（木）に、下位の市町長より上位の市町長にエールを交換。</p> <p>・平成24年5月31日（木）から各市町庁舎のメインポールに、上位から順番に市町旗を1週間掲揚。</p>						

事業の評価

チャレンジデーを通じて、当初の目的である地域住民の仲間意識や連帯感を醸成するとともに、スポーツや健康づくりに対する意識高揚と自治体・地域間の交流を図ることができた。

達成状況

達成 一部達成 検討中

今後の方向性

継続（拡充） 継続（現状維持） 継続（改善） 継続（縮小）
継続（統合） 休止 廃止 終了

事業名	図書館相互利用推進事業					関係市町																					
						赤穂市・備前市・上郡町																					
事業内容	関係市町の公立図書館及び関西福祉大学図書館の相互利用を促進するため、相互に利用案内を作成・設置するとともに、共通のポスター、チラシを作成する。																										
効果	公立図書館及び関西福祉大学附属図書館の利用にかかる利便性を向上し、住民サービスの向上を図る。																										
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計																					
	852,350	—	—	—	—	852,350																					
平成22年度事業の内容																											
<p>2市1町（関西福祉大学の学生・職員を含む）の住民が各図書館での図書貸し出しを受けられるよう、利用者カードを作成する。</p> <p>事業開始は平成23年4月1日からとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 図書館利用者カードの作成 赤穂市及び備前市分を作成。 ただし、上郡町及び関西福祉大学図書館については作成不要。 ポスター・チラシ・利用案内冊子の作成について 周知用ポスター・チラシ・利用案内冊子を作成。 																											
平成23年度事業の内容																											
<ul style="list-style-type: none"> 平成23年4月より備前市、赤穂市、上郡町、関西福祉大学の各図書館（図書室）の相互利用開始 利用案内ポスター・チラシ配布 各図書館登録状況（平成24年3月末現在） <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>赤穂市から</td> <td>備前市</td> <td>5人</td> <td>上郡町</td> <td>29人</td> <td>関福大</td> <td>59人</td> </tr> <tr> <td>備前市から</td> <td>赤穂市</td> <td>193人</td> <td>上郡町</td> <td>2人</td> <td>関福大</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>上郡町から</td> <td>赤穂市</td> <td>89人</td> <td>備前市</td> <td>1人</td> <td>関福大</td> <td>5人</td> </tr> </table> 							赤穂市から	備前市	5人	上郡町	29人	関福大	59人	備前市から	赤穂市	193人	上郡町	2人	関福大	5人	上郡町から	赤穂市	89人	備前市	1人	関福大	5人
赤穂市から	備前市	5人	上郡町	29人	関福大	59人																					
備前市から	赤穂市	193人	上郡町	2人	関福大	5人																					
上郡町から	赤穂市	89人	備前市	1人	関福大	5人																					
平成24年度事業の内容																											
<ul style="list-style-type: none"> 平成23年4月より備前市、赤穂市、上郡町、関西福祉大学の各図書館（図書室）の相互利用を開始 利用案内ポスター・チラシ配布 各図書館登録状況（平成25年3月末現在） <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>赤穂市から</td> <td>備前市</td> <td>11人</td> <td>上郡町</td> <td>46人</td> <td>関福大</td> <td>109人</td> </tr> <tr> <td>備前市から</td> <td>赤穂市</td> <td>274人</td> <td>上郡町</td> <td>4人</td> <td>関福大</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>上郡町から</td> <td>赤穂市</td> <td>160人</td> <td>備前市</td> <td>3人</td> <td>関福大</td> <td>9人</td> </tr> </table> 							赤穂市から	備前市	11人	上郡町	46人	関福大	109人	備前市から	赤穂市	274人	上郡町	4人	関福大	15人	上郡町から	赤穂市	160人	備前市	3人	関福大	9人
赤穂市から	備前市	11人	上郡町	46人	関福大	109人																					
備前市から	赤穂市	274人	上郡町	4人	関福大	15人																					
上郡町から	赤穂市	160人	備前市	3人	関福大	9人																					

平成 25 年 度 事 業 の 内 容

- 平成 23 年 4 月より備前市、赤穂市、上郡町、関西福祉大学の各図書館の相互利用を開始
- 利用案内ポスター・チラシ配布
- 各図書館登録状況（平成 26 年 3 月末現在）

赤穂市から	備前市	15人	上郡町	58人	関福大	132人
備前市から	赤穂市	340人	上郡町	5人	関福大	23人
上郡町から	赤穂市	235人	備前市	4人	関福大	13人

平成 26 年 度 事 業 の 内 容

- 平成 23 年 4 月より備前市、赤穂市、上郡町、関西福祉大学の各図書館の相互利用を開始
- 利用案内ポスター・チラシ配布
- 各図書館登録状況（平成 26 年 9 月末現在）

赤穂市から	備前市	16人	上郡町	60人	関福大	156人
備前市から	赤穂市	370人	上郡町	5人	関福大	27人
上郡町から	赤穂市	264人	備前市	4人	関福大	14人

事 業 の 評 価

平成 23 年 4 月より備前市、赤穂市、上郡町の 2 市 1 町（関西福祉大学の学生・職員を含む）の住民を対象とした各図書館の相互利用を実施している。登録状況は各市町とも微増ではあるが増加している状況であり、当事業の目的は達成していると思われる。今後も引き続き継続していきたい。

達 成 状 況

達成 一部達成 検討中

今 後 の 方 向 性

継続（拡充） 継続（現状維持） 継続（改善） 継続（縮小）
 継続（統合） 休止 廃止 終了

事業名	文化・スポーツ交流事業					
	関係市町 赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	文化事業やスポーツ大会等の開催情報を圏域全体に発信し、関係市町で実施する大会等に圏域住民のオープン参加を追加するなど、関係市町で実施する既存事業において圏域住民の参加を図る。また、スポーツ推進委員等関係者の交流や関係市町で発行した文化関係図書等の交換を行う。					
効果	文化事業やスポーツ大会等に圏域住民の参加を促進して相互交流を深めるとともに、施設の利用促進を図る。他市町の住民やチームが参加することによるレベルアップも期待できる。また、行政間でも人的・物的交流による相互理解を深める。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	200,000	640,000	840,000
平成22年度事業の内容						
<p>各市町のホームページや広報等を通じ、スポーツ大会等の開催を圏域全体にPRする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年 6月24日(木) 2市1町体育指導委員情報交換会を行い、体育指導委員のスポーツ交流大会や研修会など、今後の交流について協議を行った。 ・平成22年 8月22日(日) 赤穂市卓球大会に備前市から6チーム、上郡市から4チームが参加。 ・平成22年 8月28日(土) 備前市において体育指導委員交流会を実施。 ・平成22年 9月 5日(日) 赤穂義士杯青少年柔道大会に、上郡市から3チームが参加。 ・平成22年11月 7日(日) 忠臣蔵旗少年剣道大会に備前市及び上郡町から3チームが参加。 ・平成22年12月14日(水) 義士祭奉賛武道駅伝競走大会に、備前市及び上郡町から2チームが参加。 ・平成22年12月18日(日) 2市1町体育指導委員交流会にて、ニュースポーツ(室内カーリング)の実技研修と情報交換会を開催。 ・平成23年 1月30日(日) 赤穂シティマラソン・プレ大会に、備前市及び上郡町の体育指導委員20名が、沿道の整理係員として参加。 ・平成23年 2月26日(土) 上郡町で2市1町体育指導委員交流会を開催し、囲碁ボードの実技研修会と情報交換会を実施。 						
平成23年度事業の内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年 4月25日(月) 3市町スポーツ推進委員情報交換会 スポーツ推進委員のスポーツ交流大会や研修会など、今後の交流について協議を行った。 ・平成24年 1月21日(土) 3市町スポーツ推進委員スポーツ交流事業を実施(赤穂市民総合体育館) 実技研修会として、チャレンジ・ザ・ゲームを実施(39名参加) 						

平成 24 年 度 事 業 の 内 容	
・平成 24 年 5 月 17 日 (木)	2 市 1 町スポーツ推進委員情報交換会 各市町スポーツ推進委員の活動状況や、今年度のスポーツ推進委員の交流大会や研修会など、今後の交流事業について協議を行った。
・平成 24 年 6 月 16 日 (土)	西播磨スポーツ推進委員研修会の実技講習会 (赤穂市民総合体育館) 講師として、備前市スポーツ推進委員 10 名がチャレンジ・ザ・ゲームの指導を担当。
・平成 24 年 11 月 11 日 (日)	第 2 回赤穂シティマラソン大会において、競技役員として、2 市 1 町スポーツ推進委員が給水等の選手もてなし係を担当。
・平成 25 年 2 月 23 日 (土)	2 市 1 町スポーツ推進委員スポーツ交流事業を実施 (上郡町 B & G)。実技研修会として、ワンバウンド・フラバール・ボールを実施。
平成 25 年 度 事 業 の 内 容	
・平成 25 年 5 月 21 日 (火)	2 市 1 町スポーツ推進委員情報交換会 備前市教育委員会三石支所にて、平成 25 年度スポーツ推進委員の活動状況、今年度のスポーツ推進委員の交流大会や研修会、トップアスリート招へい事業について情報交換を実施。
・平成 25 年 6 月 7 日 (金)	2 市 1 町スポーツ推進委員情報交換会 備前市吉永 B&G 海洋センターにて、今年度のスポーツ推進委員交流事業の開催日時、会場、内容等について協議会を実施。
・平成 25 年 11 月 10 日 (日)	第 3 回赤穂シティマラソン大会において、2 市 1 町のスポーツ推進委員 38 名が競技役員として参加。
・平成 26 年 1 月 25 日 (土)	赤穂市地区体育館にて、2 市 1 町スポーツ推進委員の実技研修及びスポーツ交流会を実施。2 市 1 町スポーツ推進委員 32 名が参加。
平成 26 年 度 事 業 の 内 容	
・平成 26 年 4 月 17 日 (木)	2 市 1 町事務担当者会議 赤穂市教育委員会にて、平成 26 年度事業の内容及び日程、役割分担等について協議。
・平成 26 年 5 月 17 日 (土)	2 市 1 町青少年スポーツ交流会 2 市 1 町の小学生を対象に、赤穂市民総合体育館で行われた全日本剣道連盟の世界選手権出場選手の強化練習の見学

<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年 7月22日(火) ・平成26年10月14日(火) ・平成26年11月 9日(日) ・平成27年 2月21日(土) 	<p>と、兵庫県剣道連盟による実技講習会及び交流会を実施し、154名が参加。</p> <p>2市1町スポーツ推進委員情報交換会 備前市教育委員会三石支所にて、平成26年度スポーツ推進委員の活動状況、今年度のスポーツ推進委員の交流大会や研修会、トップアスリート招へい事業について情報交換を実施。</p> <p>2市1町事務担当者会議 赤穂市教育委員会にて、平成26年度事業(上半期)の実施状況及び平成27年度共生ビジョンについて協議。</p> <p>第4回赤穂シティマラソン大会 2市1町のスポーツ推進委員が競技役員として参加予定。</p> <p>2市1町スポーツ推進委員合同実技研修会 備前市にて、2市1町スポーツ推進委員の実技研修及びスポーツ交流会を実施予定。</p>
事業の評価	
2市1町のスポーツ推進委員の連携による合同研修会やスポーツ交流をはじめ、青少年のスポーツ交流会により、圏域住民の相互交流が図られている。	
達成状況	
<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 検討中	
今後の方向性	
<input type="checkbox"/> 継続(拡充) <input checked="" type="checkbox"/> 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> 継続(改善) <input type="checkbox"/> 継続(縮小) <input type="checkbox"/> 継続(統合) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終了	

事業名	文化・スポーツ施設相互利用促進事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	関係市町の文化・スポーツ施設のうち、圏域住民が利用する施設と位置づけられた施設について、市町民と市町外住民に使用料金格差を設けているなどの制約がある場合、原則として圏域住民に限り市町民と同等の条件で利用できるよう改める。					
効果	圏域住民が文化・スポーツ施設を平等に利用することにより、圏域内の文化・スポーツの振興、施設の利用促進及び住民の相互交流を図る。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	—	—	—
平成22年度事業の内容						
各市町平成23年第1回定例会に必要な条例等改正を提案。(可決)						
平成23・24・25年度事業の内容						
<p>東備西播定住自立圏域内（赤穂市、備前市、上郡町）の文化・スポーツ施設について、これまで他市町の住民に対して利用制限や割増料金などを設けていたが、文化・スポーツの振興、住民の相互交流を深めるため、3市町の住民が同じ条件で利用できるように関係条例等の一部改正した。</p> <p><広域利用対象施設></p> <p>【赤穂市】</p> <p>1) 文化関連施設 文化会館・市民会館・美術工芸館・歴史博物館・海洋科学館・民俗資料館・図書館</p> <p>2) スポーツ関連施設 城南緑地運動施設・市民総合体育館・野外活動センター</p> <p>【上郡町】</p> <p>1) 文化関連施設 生涯学習支援センター・郷土資料館・生きがい創造センター</p> <p>2) スポーツ関連施設 スポーツセンターB&G</p> <p>【備前市】</p> <p>1) 文化関連施設 市民センター・吉永地域公民館・加子浦歴史文化会館・八塔寺ふるさと村民民俗資料館・図書館（本館）・図書館（日生分館）・図書館（吉永分館）・吉永美術館・歴史民俗資料館・日生市民会館</p> <p>2) スポーツ関連施設 総合運動公園・三石運動公園施設・日生運動公園施設・吉永B&G海洋センター・頭島グランドゴルフ場・伊部運動公園・浜山運動公園・日生武道場・吉永テニスコート</p> <p><広域利用開始時期> 平成23年4月1日</p>						

平成 26 年 度 事 業 の 内 容			
前年度に引き続き、圏域内の文化・スポーツの振興と施設の利用を促進。			
事 業 の 評 価			
圏域住民が文化・スポーツ施設を平等に利用することにより、圏域内の文化・スポーツの振興、施設の利用促進及び住民の相互交流が図られている。			
達 成 状 況			
<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 検討中			
今 後 の 方 向 性			
<input type="checkbox"/> 継続（拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 継続（改善） <input type="checkbox"/> 継続（縮小） <input type="checkbox"/> 継続（統合） <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終了			

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	国内外で活躍するトップアスリートやトップチームを招聘し、一部観客参加イベントを実施するなどの魅力あるスポーツイベントを3市町の体育施設で開催する。					
効果	高いレベルのパフォーマンスにより、スポーツへの関心を高めるとともに、スポーツの裾野を広げ、競技レベルの向上に繋げる。 また、事業実施にあたっては、関連する競技団体やスポーツ団体と連携し、住民相互の交流を図る。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	2,940,000	3,000,000	5,940,000
平成25年度事業の内容						
<p>・平成25年5月30日(木) 2市1町事業担当者会を実施。</p> <p style="text-align: center;">平成25年度の事業内容及び役割分担について協議。</p> <p>1. 野球イベント</p> <p>1) 期 日 平成25年 8月11日(日) 10:00~13:00</p> <p>2) 会 場 上郡町スポーツセンター野球場</p> <p>3) 内 容 2市1町の小学生を対象に、プロ野球で活躍した大野豊氏・広澤克己氏・亀山つとむ氏による野球教室を実施。</p> <p>4) 参加人数 159名</p> <p>2. 卓球イベント</p> <p>1) 期 日 平成25年10月26日(日) 10:00~13:00</p> <p>2) 会 場 赤穂市民総合体育館</p> <p>3) 内 容 2市1町の小中高生を対象に、全日本卓球代表選手でロンドン五輪出場の平野早矢香氏と元全日本卓球代表選手の松下浩二氏による卓球教室を実施。</p> <p>4) 参加人数 173名</p> <p>3. ソフトボールイベント</p> <p>1) 期 日 平成25年12月 8日(日) 10:00~13:00</p> <p>2) 会 場 備前市吉永中学校</p> <p>3) 内 容 2市1町の小中学生を対象に元日本女子ソフトボール代表監督の宇津木妙子氏と元日本女子ソフトボール代表選手の乾絵美氏によるソフトボール教室を実施。</p> <p>4) 参加人数 78名</p>						
平成26年度事業の内容						
<p>・平成26年4月17日(木) 2市1町事業担当者会を実施。</p> <p style="text-align: center;">1) 平成26年度の事業内容及び役割分担について協議。</p> <p>1. バドミントンイベント</p> <p>1) 期 日 平成26年 7月21日(月:祝) 14:00~16:00</p> <p>2) 会 場 赤穂市民総合体育館</p> <p>3) 内 容 2市1町のバドミントン愛好者を対象に、北京五輪に出場し8位入賞した小椋久美子氏によるバドミントン教室を実施。</p> <p>4) 参加人数 152名</p>						

2. バレーボールイベント			
1) 期 日	平成26年 8月13日(水) 14:00~16:00		
2) 会 場	備前市総合運動公園体育館		
3) 内 容	2市1町の小学生を対象に、全日本バレーボールリーグのサントリーで現役選手として活躍中の山村宏太氏と金子隆行氏によるバレーボール教室を実施。		
4) 参加人数	75名		
3. 柔道イベント			
1) 期 日	平成26年10月 5日(日) 10:00~13:00		
2) 会 場	上郡町 B&G		
3) 内 容	2市1町の小中学生を対象に、ロンドン五輪日本代表の穴井隆将氏とロンドン五輪銀メダリストの杉本美香氏による柔道教室を実施。		
4) 参加人数	101名		
事 業 の 評 価			
国内外で活躍するトップアスリートの高いレベルのパフォーマンスにより、スポーツへの関心を高めるとともに、参加者の競技レベルの向上に繋がっている。次年度以降も、実施種目を変えて継続実施をしていきたい。			
達 成 状 況			
<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 検討中		
今 後 の 方 向 性			
<input type="checkbox"/> 継続(拡充)	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(現状維持)	<input type="checkbox"/> 継続(改善)	<input type="checkbox"/> 継続(縮小)
<input type="checkbox"/> 継続(統合)	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了

事業名	中学校吹奏楽部交流助成事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	3市町の教育委員会が、音楽を通じた地域活性化に取り組む市民団体「3Mプロジェクト」と連携して実施する3市町の中学校吹奏楽部交流事業に対して、助成を行う。					
効果	圏域の中学校吹奏楽部の交流の場を確保し、住民交流を促進するとともに、世界的演奏家の指導等により、音楽技術の向上が図れる。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	800,000	800,000	1,600,000
平成25年度事業の内容						
1) 実施日	平成25年10月26日(日) 15:00~17:00					
2) 会場	上郡町生涯学習支援センター					
3) 内容	2市1町の中学校吹奏楽部がプロのミュージシャンとコラボレーションする交流演奏会を実施。					
4) 参加人数	日生中学校20名・上郡中学校60名・赤穂中学校30名・赤穂西中学校40名・高免トリオ3名の合計153名が出演。					
平成26年度事業の内容						
1) 実施予定日	平成26年10月25日(土) 15:00~17:00					
2) 会場	備前市立日生市民会館					
3) 内容	2市1町の中学校吹奏楽部がプロのミュージシャンとコラボレーションする交流演奏会を実施予定。					
事業の評価						
圏域内3市町の中学校吹奏楽部が市民団体と連携して合同の演奏会を開催することにより、生徒・関係団体ともに交流を図ることができ、またプロのミュージシャンから指導を受け、一緒に演奏することで、音楽技術の向上も図ることができる事業である。						
達成状況						
<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 検討中						
今後の方向性						
<input type="checkbox"/> 継続(拡充) <input checked="" type="checkbox"/> 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> 継続(改善) <input type="checkbox"/> 継続(縮小)						
<input type="checkbox"/> 継続(統合) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終了						

事業名	赤穂市文化会館整備事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	生涯学習の推進のための各種事業を実施する赤穂市文化会館は、圏域において重要な文化振興拠点施設であるため、経年劣化により改修の必要性がある施設設備等の改修を行う。					
効果	圏域住民の利用に必要な施設整備を行い、圏域形成を推進する文化事業の振興を図る。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	51,972,750	87,107,150	115,500,000	—	254,579,900
平成23年度事業の内容						
【実施内容】						
(1) 受電設備改修外						
高圧受電ケーブルの更新外						
①工 期 平成23年8月10日～平成23年8月31日						
②執行額 3,147,750 円						
(2) 音響設備改修						
大ホール音響設備の改修						
①工 期 平成23年12月14日～平成24年2月28日						
②執行額 48,825,000 円						
平成24年度事業の内容						
(1) 大ホール舞台改修工事						
舞台の吊物機構マシンの老朽化による取替工事を実施。						
①工 期 平成24年4月18日～平成24年8月10日						
②執行額 6,090,000 円						
(2) 冷温水機改修工事（館全体）						
館内の冷温水機の老朽化による取替工事を実施。						
①工 期 平成24年7月11日～平成24年12月17日						
②執行額 71,907,150 円						
(3) 小ホール音響設備改修工事						
①工 期 平成24年11月28日～平成25年2月15日						
②執行額 8,347,500 円						
(4) 小ホール音響機器賃借料						
①期 間 平成24年4月1日～平成24年8月31日						
②執行額 762,500 円						

平成 25 年 度 事 業 の 内 容			
(1)大ホール及び小ホール証明設備改修一式 経年劣化による改修工事を実施。			
① 工 期	平成25年9月18日～平成26年2月28日		
② 執行額	115,500,000 円		
事 業 の 評 価			
音響・照明設備等の改修を実施したことで、これまで以上に魅力的な演奏会や公演を行うことができるようになり、圏域内の文化振興活動の拠点施設としてのさらなる役割を發揮できるようになった。			
達 成 状 況			
<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 一部達成	<input type="checkbox"/> 検討中	
今 後 の 方 向 性			
<input type="checkbox"/> 継続（拡充）	<input type="checkbox"/> 継続（現状維持）	<input type="checkbox"/> 継続（改善）	<input type="checkbox"/> 継続（縮小）
<input type="checkbox"/> 継続（統合）	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了

事業名	備前市生涯学習施設整備事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	日生市民会館は、「図書館相互利用推進事業」の拠点施設となる図書館を含む複合施設であり、図書館相互利用をはじめ圏域住民による文化振興、住民交流等を促進する場として重要な役割を果たしているため、経年劣化により改修の必要性がある施設設備等の整備を行う。					
効果	圏域住民の利用に必要な施設の整備を行い、図書館相互利用推進事業の推進を図るとともに、圏域内の生涯学習機会の充実、文化振興及び住民交流の促進を図る。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	14,082,600	20,446,000	34,528,600
平成25年度事業の内容						
1. 日生市民会館						
1) 外壁改修工事						
経年劣化による改修工事を実施。						
① 工期 平成26年1月7日～平成26年3月31日						
② 執行額 14,082,600円						
平成26年度事業の内容						
1. 日生市民会館						
1) 外壁改修工事（5年計画の3年目）						
経年劣化による改修工事を実施予定						
① 工期 平成26年11月～平成27年3月 予定						
② 予算額 20,446,000円（工事費19,760,000円 設計監理委託料686,000円）						
事業の評価						
28年度を最終年度として完了する予定である。26年度は改修面積＝492㎡の予定。圏域住民の交流と相互利用にふさわしい施設として整備が進んでいる。						
達成状況						
<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 検討中						
今後の方向性						
<input type="checkbox"/> 継続（拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 継続（改善） <input type="checkbox"/> 継続（縮小）						
<input type="checkbox"/> 継続（統合） <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終了						

事業名	上郡町生涯学習施設整備事業		関係市町				
			赤穂市・備前市・上郡町				
事業内容	上郡町生涯学習支援センター（図書室を含む。）は、圏域市町間における「図書館相互利用推進事業」をはじめ、各種圏域事業による圏域住民の文化振興、住民交流等を促進する場として重要な役割を果たす拠点施設であるが、経年劣化に伴う施設の改修の必要性があるため、施設及び設備等の整備を行う。						
効果	圏域住民の交流・利用に必要な施設の充実を行い、図書館相互利用事業の推進をはじめとする圏域住民の生涯学習機会の充実、文化振興及び住民交流の促進を図る。						
事業費 (円)	施設名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	上郡町生涯学習支援センター	—	—	—	—	45,173,000	45,173,000
平成26年度事業の内容							
上郡町生涯学習支援センター施設 屋上防水改修、外壁塗装改修、外壁クラック改修、大ホール吊り天井耐震補強、大ホール吊り物機構改修を実施							
事業の評価							
設置（建設）から約30年を経過している施設であるため老朽化が著しく利用者の安全性、利便性が低下していましたが、本整備事業により安全性、利便性の向上のほか施設の長寿命化が図れたことで圏域内での相互利用も促進することができる。							
達成状況							
<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 検討中							
今後の方向性							
<input type="checkbox"/> 継続（拡充） <input type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 継続（改善） <input type="checkbox"/> 継続（縮小） <input type="checkbox"/> 継続（統合） <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終了							

(イ) 学校給食の広域連携

○取組の内容

圏域における学校給食の充実を図るため、学校給食施設の広域連携を図る。

備前市の役割	赤穂市の役割
技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。	技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。	学校給食施設を建設するにあたり、備前市及び赤穂市と連携して、施設運営の技術的交流に取り組むことにより、圏域における学校給食の充実を図る。

事業名	関係市町					
	上郡町・備前市・赤穂市					
事業内容	上郡町が建設する学校給食施設の運営に向け、食品や献立データなどを管理する給食管理システム構築等の技術支援を図るとともに、将来を見据え、圏域市町間相互の食材を使用する「圏域市町デー（仮称）」を設けるなど、広域連携について検討する。					
効果	学校給食を活用した食育の推進を通じて、圏域内で生産された食材について理解を深めるとともに、圏域内の地産地消の推進を図る。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	129,112,000	349,961,000	—	479,073,000
平成22年度事業の内容						
<p>上郡町における学校給食施設の建設・運営に向けた検討 平成22年6月～ 関係課による検討委員会を実施 メンバー：企画財政課、学校教育課、健康福祉課、産業振興課、建設課 ※検討委員会で具体的な提供手法等について検討し、方針を取りまとめ。</p>						
平成23年度事業の内容						
<p>平成23年12月 給食センター予定地を決定 上郡町竹万字大開キ2318番地 平成24年1月 給食センター建築工事設計監理業務委託契約を締結 平成24年2月 給食センター設計に関する技術的相談、協議</p>						

平成 24 年度 事業 の 内 容			
平成 24 年 1 月	上郡町学校給食センター建築工事設計監理業務委託契約を締結		
平成 24 年 2 月～	上郡町学校給食センター設計に関する技術的相談、協議		
平成 24 年 10 月	上郡町学校給食センター建築工事契約を締結		
平成 25 年 1 月	上郡町給食管理システム整備に関する技術支援		
平成 25 年度 事業 の 内 容			
平成 25 年 4 月～	上郡町給食管理システム整備に関する技術支援		
平成 25 年 8 月	上郡町学校給食センター竣工		
平成 25 年 9 月～	上郡町学校給食センター供用開始		
平成 25 年 12 月 24 日	広域連携協議及び学校給食事業意見交換等を実施		
平成 26 年度 事業 の 内 容			
平成 26 年 8 月 27 日	食材等の相互活用協議及び学校給食事業の意見交換等を実施		
事業 の 評 価			
<p>上郡町給食センター建設・運営に当たり、赤穂市・備前市より施設設計及び給食管理システム整備に関する技術支援を受け、円滑な工事進捗のもと、平成 25 年 8 月に上郡町給食センターが完成し、同年 10 月より、上郡町内の 3 幼稚園 3 小学校に学校給食を提供する運びとなった。</p> <p>また、各市町の担当者、栄養教諭等による部会にて、圏域内での食材の相互活用や地産地消の推進方法を検討し、各市町の特産品を活用したメニューの作成及び献立の交換等により、圏域食材を使用した学校給食の提供を行った。</p> <p>今後も情報交換を行い、可能な限り圏域メニューを増やし、圏域間にて PR を行うこととする。</p> <p>【主な相互活用食材】</p> <p>(上郡町) 円心モロどん、モロヘイヤふりかけ、キクラゲ、牛肉等</p> <p>(赤穂市) 天塩、赤穂みかん等</p> <p>(備前市) マッシュルーム、キャベツ、冬瓜等</p> <p>なお、地産地消デー等の設定は、食材の収穫時期や量の確保、また農家との生産調整等により、3 市町での同一日設定は困難であり、個々に定期的に食育だより、献立表を活用し、圏域内の食材であることを保護者等に PR することとした。</p>			
達 成 状 況			
<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 一部達成	<input type="checkbox"/> 検討中	
今 後 の 方 向 性			
<input type="checkbox"/> 継続 (拡充)	<input type="checkbox"/> 継続 (現状維持)	<input type="checkbox"/> 継続 (改善)	<input type="checkbox"/> 継続 (縮小)
<input type="checkbox"/> 継続 (統合)	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 終了

ウ. 産業振興

(ア) 地産地消の推進及び地域ブランドの発掘

○取組の内容

地産地消の推進及び地域ブランドの発掘を図るため、圏域内の事業体に対して既存商品の再発掘、改良及び新商品の開発等について必要な支援を行うとともに、各種イベントの実施や既存施設の空きスペース等の活用により情報を発信する。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。	備前市及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等について総合的な調整を行うとともに、必要な支援及び情報発信を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。	備前市及び赤穂市、並びに関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。

事業名	地域ブランド発掘事業						関係市町	
							赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	農商工連携セミナー、学習会、料理教室等各種イベントを農業者、商工業者が共同で実施するなど、地域ブランド発掘のための事業を行うとともに、各地でのイベントに出店、参加する。							
効果	地産地消を推進し、地域独自の売りとなる地域ブランドの商品や特産品などを創造することにより、圏域経済を活性化し、生産者等の意欲向上を図るとともに、圏域市町の名を全国に発信し、知名度アップを図る。							
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計		
	983,964	1,194,637	343,600	305,000	840,000	3,667,201		

平成22年度事業の内容

【実施内容】

実施日	内容	場所	備考
平成22年7月9日(金)	農商工連携セミナー	赤穂市文化会館	・農商工連携と地域資源活用の2つの施策の認定制度の説明について ・成功事例にみる制度の効果的な活用についてなど
7月28日(水)	第1回学習会	〃	・売れる商品の開発について
8月11日(水)	第2回学習会	〃	・商品を地域ブランドに
8月25日(水)	第3回学習会	〃	・食を軸にした地域ブランド戦略
10月8日(金)	第4回学習会	〃	・(新商品、既存商品)アイデア検討 ・必要な支援の方向性
平成22年7月6日(火)	第1回料理教室	有年公民館	【講師】株式会社グリーンにしはりま 専務 太田和男氏 赤穂市いづみ会

7月28日(水)	第2回料理教室	城西小学校	【講師】JA兵庫西赤穂野菜市 会長 沖洋和 氏 すし・季節料理・竹 店長 竹原真二 氏
8月22日(日)	第3回料理教室	備前市内	【講師】吉永地区栄養委員会
10月17日(日)	第4回料理教室	ラ・セーヌ洋菓子店	【講師】ラ・セーヌ洋菓子店 虎津 禎一 氏
平成23年2月4日(金)	第5回料理教室	周世ふれあい市場	【講師】周世ふれあい市場企業組合
10月24日(日)	大石りくまつりに出展	豊岡市内	
11月13日(土) ～14日(日)	きらまつりに出展	吉良町内	
平成23年2月6日(日)	赤穂かきまつりに出展	赤穂市内	3市町の既存商品・新商品の販売
2月15日(火)	アグリフード EXPO2010 先進事例(広域的販路拡大)視察研修	大阪 ATC	「農と食をつなぐ」をテーマとした国産物の展示商談会

平成23年度事業の内容

1. 平成23年 4月 1日 東備西播定住自立圏地域ブランド発掘事業推進支援要綱を施行

【実施内容】

実施日	内容	場所	備考
平成23年7月5日(火)	第1回 農商工連携セミナー	赤穂商工会議所	・地域ブランド化へ向けたアプローチ 【参加者36名:商工業者13名、農業者8名、関係者15名】
7月26日(火)	第2回 農商工連携セミナー	赤穂商工会議所	・地域ブランド化へ向けたアプローチ 【参加者29名:商工業者15名、農業者2名、関係者12名】
8月2日(火) ～3日(水)	アグリフードEXPO東京2011	東京ビッグサイト	・圏域内産米を使用した製品のPR 【出展ブース数:赤穂市1(工房あか穂の実り)】

8月10日(水)	第1回料理教室 (担当:赤穂市)	有年公民館 (赤穂市)	【講師】JA兵庫西赤穂野菜市 副会長 梶本吉昭氏 赤相栄養士会 魚正鮮魚店 清原信哉氏 とみはら 富原利行氏 【参加者】40名
9月25日(日)	まるごと赤穂 しおばなまつり	赤穂市内	・備前市のいちじく加工品販売及びPR
12月1日(木) ～1月31日(火)	赤穂情報物産館	赤穂市内	・備前市のいちじく加工品を展示・販売
12月15日(木) ～28日(水)	「純米酒 大鳥圭介」 募集及び販売	上郡町内	・上郡町産酒米を使用した日本酒の販路拡大事業 【販売実績】204本
平成24年2月5日(日)	赤穂かきまつり出店	赤穂海浜公園	出店 6ブース
2月14日(火) ～15日(水)	アグリフードEXPO大阪2012	ATCアジア 太平洋トレード センター	・圏域内農産物等のPR 【出展ブース数:備前市1(JA岡山東)、 上郡町1(上郡町薬草研究会)】

平成 24 年 度 事 業 の 内 容

【実施内容】

実施日	内容	場所	備考
平成 24 年 8 月 20 日(月) ～21 日(火)	農商工連携セミナー (個別ヒアリング)	赤穂市役所	参加希望者から個別に今後の取組希望等についてヒアリングを実施 【参加者 7 名: 商工業者 4 名、農業者 3 名】
平成 25 年 2 月 3 日(日)	各市町のイベントに出店	赤穂市	・赤穂かきまつり
随時	地域ブランド発掘事業推進支援		展示商談会出展、新製品開発・既存商品の販路拡大に関する取り組みの補助 【H24 の支援内容】 ・赤穂産塩・海苔を使用した味付海苔のパッケージ作成支援 ・シーフードショー大阪への出展支援(2/21、22)

平成 25 年 度 事 業 の 内 容

【実施内容】

- 上郡町観光案内所が実施する新特産品 PR パンフレット作成事業に対し、支援を決定
事業概要：上郡町特産のモロヘイヤ・カワラケツメイ等を利用した新たな加工品の販路拡大のため、PR パンフレットを作成（作成部数 5,000部）
連携事業者：上郡町観光案内所、天と海と菓子と SANPOU（赤穂市）、上郡町薬草研究会
支援決定額：200,000円（支援金上限額）
- 各市町におけるイベント等への出店支援
赤穂かきまつりへの出店負担金助成
参加市町（出店数）：赤穂市（5）・備前市（1）・上郡町（1）
助成額：105,000円

平成 26 年 度 事 業 の 内 容

【実施内容】

- 地域ブランド発掘支援金の交付 1 団体（赤穂塩ベジタブルの生産・販売に係る補助）
交付決定済額 200,000円

【今後の実施予定】

- イベント出展等の支援
赤穂かきまつり等、各市町でのイベント出展料支援の実施
- 地域ブランド発掘支援金の交付
新たな地域ブランドとなり得る製品の開発、販路拡大を支援

事業の評価

これまでの活動を通じて、新たな地域ブランドの開発・販路拡大事業やイベント出店の支援、料理教室の開催等により、圏域の魅力を内外に発信してきた。

今後も、地域ブランドの開発・販路拡大事業の支援を継続することと合わせて、圏域の農業者等によるイベント開催について支援を行う。

達成状況

達成 一部達成 検討中

今後の方向性

継続（拡充） 継続（現状維持） 継続（改善） 継続（縮小）
 継続（統合） 休止 廃止 終了

(イ) 観光振興の推進

○取組の内容

観光振興による地域産業の活性化を図るため、地域の観光資源の発掘やその魅力を活かした観光ルートの設定、旅行代理店等へのPR及びガイドブックの作成を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 備前焼、旧閑谷学校等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 赤穂市と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 赤穂市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。	(a) 忠臣蔵、塩等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 旅行代理店等と連携、調整を図り、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 備前市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 備前焼、旧閑谷学校等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 上郡町と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 上郡町と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。	(a) 古代山陽道や赤松氏等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 備前市及び赤穂市と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 備前市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。

事業名	観光振興推進事業						関係市町
							赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	単独の市町では設定できない魅力的な観光ルートや、広域的な観光ガイドブックを作成する。さらに、観光キャンペーン等での情報発信や誘客活動を共同で行う。 なお、事業の実施にあたっては、外部アドバイザーの招へい等を行い、事業の円滑な推進を図る。						
効果	知名度の高い観光資源を有効に組み合わせ活用するとともに、海、山、川など豊かな自然環境や景観を活かした新たな観光資源の開発の検討もを行い、圏域全体での観光振興の推進を図る。						
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計	
	4,275,001	7,421,357	563,104	1,465,660	1,628,000	15,353,122	

平成22年度事業の内容

1	GAP調査の実施（平成22年7月8日（木）～9日（金））					
(1) 対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・20歳以上の男女 ・インターネットリサーチ「マクロミル」のモニター会員 1,030名 					
(2) 居住地区	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県 206名 ・兵庫県 206名 ・京都府 206名 ・大阪府 206名 ・広島県 206名 					
(3) 調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・Q1～Q10までの10項目 ・イメージ比較、訪問経験、期待と満足度、認知と関心、食に関する新メニュー案について、食に関する提供の仕方について 					

2	旅づくり塾による観光振興推進対策の検討（ワークショップの開催外）
3	<p>新ご当地グルメお披露目会を開催</p> <p>日 時 平成23年1月28日（金）</p> <p>場 所 赤穂パークホテル</p> <p>(1) 出席者 3市町の市長、副市長、議長、副議長、3市町担当者、観光協会・商工会、提供店舗担当者、旅作り塾WS参加者、マスコミ関係者</p> <p>(2) 実施内容 ①新ご当地グルメ「塩モロどん」「いとこぜんざい」の紹介・試食 ②のぼり公開・配布</p>
4	<p>平成23年2月1日（火）発売の「関西、中国・四国じゃらん 3月号」に「新ご当地グルメ誕生！」として記事風広告4ページを掲載。</p> <p>また、2月1日から、圏域内14店舗で「塩モロどん」「いとこぜんざい」を販売開始。</p>
5	平成23年2月6日（日）開催の「赤穂かきまつり」において、「塩モロどん」と「いとこぜんざい」の一般向けお披露目販売を実施。

平成23年度事業の内容

- ・23年度事業として、観光ステップアップ事業と観光客向けガイドブック作成業務を合わせる形により、3市町を巡る観光ルート開発や3市町協働しての観光イメージづくりに向けた観光情報誌「るるぶ」地域版を発行した。
- ・部 数 8万部作成（16ページ）
JTB近畿、西日本支店等（約200箇所）への配布
2万部
備前市・赤穂市・上郡町配布・活用分
各2万部
- ・著作権 協議会、JTB、JTBパブリッシングの
持分均等による共同保有
- ・納 品 平成24年2月29日

平成24年度事業の内容

1. 平成24年5月21日～5月31日
るるぶ情報誌（23年度作成分）配布（JTB委託）
近畿・中国・四国のJTB支店並びに提携施設等 217箇所 4,000部
2. 平成25年1月31日（木）～2月1日（金）3市町合同キャンペーンの実施
 - ・「新鮮！うまい！岡山県東備物産フェア」への合同出展・キャンペーン
 - ・場所 阪急北千里駅前（ディオス北千里駅前広場）
 - ・内容 3市町の特産品販売並びに「るるぶ情報誌」・各市の観光パンフレットの配布
(1,000部)

平成 25 年 度 事 業 の 内 容

1. 合同観光ポスターの作成

- ・作成種類等 赤穂市、上郡町、備前市 各 1 種類 三連張可
- ・作成部数 B1 サイズ 1, 500 枚 B2 サイズ 1, 500 枚

2. 合同観光タペストリーの作成

- ・作成種類等 自立式 3 面
- ・作成数 3 式

3. 合同観光キャンペーンの実施

- ・時 期 平成 26 年 1 月 20 日
- ・場 所 JR 岡山駅
- ・内 容 各市町観光パンフレットの配布外

平成 26 年 度 事 業 の 内 容

1. 圏域観光パンフレットの作成 (計画中)

(1) 内容

地元大学生のレポート形式により、備前、赤穂、上郡のそれぞれ訪れたい場所や食べ物等を若い視点で捉えるとともに、圏域内のモデル観光ルートを紹介する。

(2) 状況

作成方法について検討中

2. モニターツアーの実施 (実施済)

(1) 内容

圏域内の観光素材を PR していくため、兵庫県や西播磨観光協議会で実施している「ブロガーモニターツアー」を参考に京阪神地域在住者を対象にしたモニターツアーを企画し、婚活や定住相談にも繋げられるよう圏域内の観光素材を PR する。

(2) 状況

①日時 平成 26 年 9 月 21 日 (日)

②内容 「縁結び」をテーマに関連スポットを周遊したほか、ラジオ放送等により観光 PR に重点を置いた事前告知を複数回にわたって実施した。またポータルサイト「ともしんく」の周知、利用促進を促すなど幅広く PR を行った。

3. 観光キャンペーンの実施 (計画中)

(1) 内容

京阪神地域での合同観光キャンペーンを実施し、圏域内の食材や観光 PR を行う。

(2) 状況

パンフレット作成後に実施予定

事業の評価

合同キャンペーン等広域エリアでのPRは、多様な観光素材を提供することができ、有効であったと考えている。継続・安定的な情報提供に取り組みたい。

達成状況

達成 一部達成 検討中

今後の方向性

継続（拡充） 継続（現状維持） 継続（改善） 継続（縮小）
 継続（統合） 休止 廃止 終了

(ウ) 鳥獣害防止総合対策

○取組の内容

圏域内の農業被害の軽減及び山村の機能を保全するため、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成19年法律第134号）に基づき、各市町が策定した被害防止計画に定めた鳥獣被害防止対策を総合的に進める。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 関係住民等との連携を図り、赤穂市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 赤穂市と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。	(a) 関係住民等との連携を図り、備前市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 備前市と共同して鳥獣被害防止計画を策定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 関係住民等との連携を図り、上郡町と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 上郡町と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。	(a) 関係住民等との連携を図り、備前市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 備前市と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町で鳥獣被害防止計画のすり合わせを行うとともに、ヌートリア用捕獲檻を一括購入したり、狩猟期間以外において市町界、県境での有害鳥獣の共同捕獲活動を実験的に行う。					
効果	圏域の関係団体が一体となった取組みを進めることにより、農作物等への被害を抑制し、イノシシやシカなどの生息状況や生息環境の情報を共有しながら効果的な対策を講じることができる。特に、関係市町の境界付近においては有効である。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	572,465	2,367,100	595,410	448,782	3,540,000	7,523,757

平成22年度事業の内容

- ヌートリア捕獲用檻を各市町10基、計30基を購入。
- 各市町の鳥獣被害防止計画に共通項目を示すためのすり合わせ作業を実施。
- 10月を強化月間として市町界、県境での有害鳥獣の共同捕獲活動を実施。

実施日 平成22年10月1日（金）～31日（日）

捕獲実績	(頭)	鹿	猪	計
赤穂市	10	10	20	
備前市	20	12	32	
上郡町	23	5	28	
合計	53	27	80	

平成 23 年度 事業 の 内容
1. 鳥獣害対策啓発冊子「これならできる！獣害対策実践マニュアル」を作成し、3市町全戸配布 ※各市町の広報誌発行時に配布（平成23年7月～8月）
平成 24 年度 事業 の 内容
1. ヌートリア捕獲用わな共同購入 20基 2. 有害鳥獣捕獲活動用資材購入 各市町の猟友会の有害鳥獣捕獲活動用資材の現物支給
平成 25 年度 事業 の 内容
【実施内容】 1. ヌートリア捕獲用わな購入 10基 支出済額：64,050円 2. 有害鳥獣捕獲活動用資材購入 猟友会の有害鳥獣捕獲活動用資材の現物支給（ダニ用殺虫剤、猟犬用薬剤等） 支出済額：384,732円
平成 26 年度 事業 の 内容
【実施内容】 1. 猟友会（捕獲班）活動用資材現物支給 捕獲わな用消耗品等 支出済額 219,812円 2. 獣害防護柵設置・捕獲わな購入補助金 獣害防護柵設置 2自治会 支出済額 695,000円
事業 の 評価
獣害啓発パンフレットを圏域内で各戸配布したことにより、住民の獣害対策の啓発を行うとともに、実際に有害鳥獣の駆除に携わる各市町の猟友会の活動の側面的支援を行うことで、各市町共通の課題である有害鳥獣による農作物被害の防止に寄与しているものとする。 しかしながら、獣害は高止まりの傾向にあるため、今後も防護柵の設置推進や、近年高齢化等により会員数が減少傾向にある猟友会の支援を継続することが必要である。
達成 状 況
<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 検討中
今 後 の 方 向 性
<input type="checkbox"/> 継続（拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 継続（改善） <input type="checkbox"/> 継続（縮小） <input type="checkbox"/> 継続（統合） <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終了

(エ) 企業誘致の推進

○取組の内容

圏域経済の活性化を図るため、連携して企業誘致に必要な情報の発信を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
企業誘致説明会等に協力及び参加し、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。	大阪市等の主要な都市部における企業誘致説明会の開催等により、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
企業誘致説明会等に協力及び参加し、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。	企業誘致説明会等に協力及び参加し、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	大阪など都市部で開催される大規模な企業誘致説明会や展示会等に、関係市町が合同で出展、参加し、情報発信を行うなど企業誘致促進のための事業を行う。					
効果	住民の雇用機会の拡大及び産業振興の促進を図ることにより、圏域経済の活性化と定住人口の確保を図り、圏域全体の活性化を推進する。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	2,119,360	1,812,857	1,841,232	1,876,162	2,300,000	9,949,611
平成22年度事業の内容						
<p>1. 平成22年9月9日(木)～10日(金)「国際フロンティア産業メッセ2010」に出展し、工場用地に関するアンケートや工業用地・観光パンフレット等の配布を行い、PRを実施</p> <p>2. 平成22年10月6日(水)～8日(金)「関西機械要素技術展」に出展し、工業用地に関するアンケートや工業用地・観光パンフレット等の配布を行い、PRを実施。</p> <p>①出席者 3市町担当者 ②会場 インデックス大阪3号館 ③来場者数 31,498人(3日間合計) ④アンケート回答者 787人</p>						
平成23年度事業の内容						
<p>平成23年10月5日(水)～7日(金)「第14回 関西機械要素技術展」に出展し、企業立地に関するアンケートや、工業用地・観光パンフレット等の配布を行い、PRを実施した。</p> <p>①出席者 3市町担当者 ②会場 インデックス大阪4号館 ③来場者登録数 32,106人(3日間合計) ④アンケート回答者 1,218人</p>						

平成 24 年度 事業 の 内容

1. 「第 15 回 関西機械要素技術展」に出展し、企業立地に関するアンケートや工業用地・観光パンフレット等の配布を行い、PR を実施。

- ①日 時 平成 24 年 10 月 3 日 (水) ～ 5 日 (金)
- ②出席者 3 市町担当者
- ③会場 インテックス大阪 2 号館
- ④来場者登録数 30,673 人 (3 日間合計)
- ⑤アンケート回答者 1,072 人

2. 3 市町担当者による企業訪問

- ①日 時 平成 24 年 11 月 21 日 (水)
- ②訪問地 高知県土佐市
- ③訪問内容 関西機械要素技術展でのアンケート情報をもとに、工場立地検討中の企業を訪問し、2 市 1 町の産業用地の紹介を行った。

平成 25 年度 事業 の 内容

「第 16 回 関西機械要素技術展」に出店し、企業立地に関するアンケートや工業用地・観光パンフレット等の配布を行い、圏域及び各市町の PR を実施した。

- ①日 時 平成 25 年 10 月 2 日 (水) ～ 4 日 (金)
- ②出席者 3 市町担当者
- ③会場 インテックス大阪
- ④来場者登録数 39,972 人 (3 日間合計)
- ⑤アンケート回答者 1,082 人

平成 26 年度 事業 の 内容

「第 17 回 関西機械要素技術展」に出店し、企業立地に関するアンケートや工業用地・観光パンフレット等の配布を行い、圏域及び各市町の PR を実施した。

- ①日 時 平成 26 年 9 月 24 日 (水) ～ 26 日 (金)
- ②出席者 3 市町担当者
- ③会場 インテックス大阪
- ④来場者登録数 36,939 人 (3 日間合計)
- ⑤アンケート回答者 637 人

事業 の 評価

平成 22 年度からの企業誘致フェア（関西機械要素技術展等）への出展を通じて 3 市町の企業誘致や定住促進等の市町情報について周知を図ってきた。このため、企業関係者等への PR をはじめ、企業の立地情報等について意見交換ができるなどの効果があった一方で、当フェアを通じて具体的な企業誘致の成果はなかった。今後は、具体的な成果を得るため、実施内容の改善を図り、企業誘致活動を充実する必要がある。

達 成 状 況			
<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 一部達成	<input type="checkbox"/> 検討中	
今 後 の 方 向 性			
<input type="checkbox"/> 継続（拡充）	<input type="checkbox"/> 継続（現状維持）	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（改善）	<input type="checkbox"/> 継続（縮小）
<input type="checkbox"/> 継続（統合）	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了

2 結びつきやネットワークの強化に係わる政策分野

ア 地域公共交通

(ア) 地域公共交通ネットワークの構築

○取組の内容

圏域内住民の移動手段を確保するため、圏域における公共交通の課題について継続的に調査、検証するとともに、バス路線の充実・構築及びJ R山陽本線、赤穂線の利便性向上に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 赤穂市と協力、連携して両市間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) J Rの利便性向上を図るため、西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけについて総合的な調整を行う。	(a) 圏域内住民の移動手段を確保するため、両市間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) J Rの利便性向上を図るため、備前市と協力、連携して西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけを行う。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 上郡町と協力、連携して両市町間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) J Rの利便性向上を図るため、西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけについて総合的な調整を行う。	(a) 備前市及び赤穂市と協力、連携して両市町間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) J Rの利便性向上を図るため、備前市と協力、連携して西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけを行う。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	圏域内において関係市町間を結ぶ公共交通ネットワークを構築するため、圏域運行バスの導入に向けて、住民ニーズ、バスの利用実態及び費用対効果等を分析・調査する。					
効果	公共交通手段の確保により、圏域住民の生活エリアの拡大、高齢者等交通弱者の移動手段の確保並びに地域の活性化を図る。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	24,200	5,343,058	18,136,620	20,560,573	31,200,000	75,264,451
平成22年度事業の内容						
【関係機関協議】 ○ウエスト神姫 ○日生運輸 ○中国運輸局岡山運輸局 ○岡山県県民交通対策課 ○兵庫県交通政策課 テスト運行素案の作成及び本格運行に向けた関係機関との協議を実施。						
平成23年度事業の内容						
1. 実証運行に向けた協議（関係者） ○（株）ウエスト神姫 ○日生運輸（株）備前バス ○タクシー事業者 ○近畿運輸局神戸運輸監理部兵庫陸運部						

- 中国運輸局岡山運輸支局
- 兵庫県交通政策課
- 兵庫県西播磨県民局
- 岡山県県民生活交通課
- 岡山県備前県民局
- 赤穂警察署
- 相生警察署
- 備前警察署

2. 圏域バス検討会議（地域公共交通会議）

- ・第1回 平成23年11月28日（月） 赤穂市役所 6階 大会議室
- ・第2回 平成24年 1月12日（木） 赤穂市役所 6階 大会議室

3. 住民周知

- ・運行チラシを作成、配布（3市町広報により全戸配布）

4. 実証運行

- ・上郡ルート 平成24年2月27日運行開始
- ・備前ルート 平成24年3月 5日運行開始

平成24年度事業の内容

圏域バスを実証運行中（2年以内）

【運行基準】（上郡ルート 平成24年2月27日～、備前ルート 平成24年3月5日～）
市町域を越える利用者は1便当り1人超、かつ、1日当りのバス総利用者は16人以上。

区分/ 月	総括					上郡ルート					備前ルート				
	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数
24.2	3	83	27.7	6.9	4.8	3	83	27.7	6.9	4.8					
24.3	27	817	30.3	4.0	2.7	27	508	18.8	4.7	2.6	24	309	12.9	3.2	2.7
24.4	25	768	30.7	3.8	2.4	25	508	20.3	5.1	2.8	25	260	10.4	2.6	2.1
24.5	27	806	29.9	3.7	2.2	27	488	18.1	4.5	2.2	27	318	11.8	2.9	2.1
24.6	26	749	28.8	3.6	2.4	26	483	18.6	4.6	2.5	26	266	10.2	2.6	2.4
24.7	26	778	29.9	3.7	2.6	26	534	20.5	5.1	3.0	26	244	9.4	2.3	2.2
24.8	27	810	30.0	3.8	2.6	27	481	17.8	4.5	2.1	27	329	12.2	3.0	3.0
24.9	25	805	32.2	4.0	2.5	25	519	20.8	5.2	2.3	25	286	11.4	2.9	2.8
24.10	27	893	33.1	4.1	2.3	27	559	20.7	5.2	2.6	27	334	12.4	3.1	2.0
24.11	26	861	33.1	4.1	2.3	26	508	19.5	4.9	2.3	26	353	13.6	3.4	2.3
24.12	24	793	33.0	4.1	2.2	24	423	17.6	4.4	2.0	24	370	15.4	3.9	2.5
25.1	24	798	33.3	4.2	2.8	24	421	17.5	4.4	1.8	24	377	15.7	3.9	3.7
25.2	24	842	35.1	4.4	2.3	24	435	18.1	4.5	1.8	24	407	17.0	4.2	2.8
25.3	26	856	32.9	4.1	2.3	26	503	19.3	4.8	2.2	26	353	13.6	3.4	2.4
累計	337	10,659	31.6	4.0	2.3	337	6,453	19.1	4.8	2.4	331	4,206	12.7	3.2	2.3

平成 25 年 度 事 業 の 内 容

平成 26 年 2 月 28 日まで実証運行を実施

【運行基準】（上郡ルート 平成 24 年 2 月 27 日～、備前ルート 平成 24 年 3 月 5 日～）

市町域を越える利用者は 1 便当たり 1 人超、かつ、1 日当たりのバス総利用者は 16 人以上。

平成 25 年 7 月 26 日 第 3 回圏域バス検討会議を開催し、運行実績を検証の結果、本格運行が承認された。

平成 26 年 3 月 1 日～ 本格運行の実施

【運行実績】

圏域バス運行状況一覧表

区分/ 月	総括					上郡ルート					備前ルート				
	運行 日数	利用者 総数	1日当 り 利用数	1便当 り 利用 数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当 り 利用数	1便当 り 利用 数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当 り 利用数	1便当 り 利用 数	市町域越 1便当り 利用者数
24.2	3	83	27.7	6.9	4.8	3	83	27.7	6.9	4.8					
24.3	27	817	30.3	4.0	2.7	27	508	18.8	4.7	2.6	24	309	12.9	3.2	2.7
合計	30	900	30.0	4.2	2.8	30	591	19.7	4.9	2.9	24	309	12.9	3.2	2.7
24.4	25	768	30.7	3.8	2.4	25	508	20.3	5.1	2.8	25	260	10.4	2.6	2.1
24.5	27	806	29.9	3.7	2.2	27	488	18.1	4.5	2.2	27	318	11.8	2.9	2.1
24.6	26	749	28.8	3.6	2.4	26	483	18.6	4.6	2.5	26	266	10.2	2.6	2.4
24.7	26	778	29.9	3.7	2.6	26	534	20.5	5.1	3.0	26	244	9.4	2.3	2.2
24.8	27	810	30.0	3.8	2.6	27	481	17.8	4.5	2.1	27	329	12.2	3.0	3.0
24.9	25	805	32.2	4.0	2.5	25	519	20.8	5.2	2.3	25	286	11.4	2.9	2.8
24.10	27	893	33.1	4.1	2.3	27	559	20.7	5.2	2.6	27	334	12.4	3.1	2.0
24.11	26	861	33.1	4.1	2.3	26	508	19.5	4.9	2.3	26	353	13.6	3.4	2.3
24.12	24	793	33.0	4.1	2.2	24	423	17.6	4.4	2.0	24	370	15.4	3.9	2.5
25.1	24	798	33.3	4.2	2.8	24	421	17.5	4.4	1.8	24	377	15.7	3.9	3.7
25.2	24	842	35.1	4.4	2.3	24	435	18.1	4.5	1.8	24	407	17.0	4.2	2.8
25.3	26	856	32.9	4.1	2.3	26	503	19.3	4.8	2.2	26	353	13.6	3.4	2.4
合計	307	9,759	31.8	4.0	2.3	307	5,862	19.1	4.8	2.3	307	3,897	12.7	3.2	2.3
25.4	26	847	32.6	4.1	2.1	26	514	19.8	4.9	2.1	26	333	12.8	3.2	2.1
25.5	27	836	31.0	3.9	2.4	27	467	17.3	4.3	2.2	27	369	13.7	3.4	2.6
25.6	25	844	33.8	4.2	2.1	25	539	21.6	5.4	2.1	25	305	12.8	3.1	2.1
25.7	27	927	34.3	4.3	2.4	27	602	22.3	5.6	2.7	27	325	12.0	3.0	2.2
25.8	27	843	31.2	3.9	2.4	27	457	16.9	4.2	2.1	27	386	14.3	3.6	2.7
25.9	25	759	30.4	3.8	2.2	25	442	17.7	4.4	2.1	25	317	12.8	3.2	2.3
25.10	27	864	32.0	4.0	2.3	27	495	18.3	4.6	2.1	27	369	13.7	3.4	2.5
25.11	26	827	31.8	4.0	2.0	26	566	21.8	5.4	2.1	26	261	10.0	2.5	1.8
25.12	24	916	38.2	4.8	3.0	24	530	22.1	5.5	2.8	24	386	16.1	4.0	3.2
26.1	24	762	31.8	4.0	2.4	24	431	18.0	4.5	2.3	24	331	13.8	3.4	2.5
26.2	24	775	32.3	4.0	2.1	24	455	19.0	4.7	1.6	24	320	13.3	3.3	2.6
26.3	26	893	34.3	4.3	2.5	26	515	19.8	5.0	2.2	26	378	14.5	3.6	2.8
合計	308	10,093	32.8	4.1	2.3	308	6,013	19.5	4.9	2.2	308	4,080	13.2	3.3	2.4
累計	645	20,752	32.2	4.0	2.3	645	12,466	19.3	4.8	2.3	639	8,286	13.0	3.2	2.4

平成 26 年度 事業 の 内容

平成 26 年 3 月 1 日より、圏域バス「ていじゅうろう」として本格運行の実施

【運行基準】

市町域を越える利用者は 1 便当たり 1 人超、かつ、1 日当たりのバス総利用者は 16 人以上。

圏域バス運行状況一覧表

区分 月	総括					上郡ルート					備前ルート				
	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用者数	1便当り 利用者数	市町域間 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用者数	1便当り 利用者数	市町域間 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用者数	1便当り 利用者数	市町域間 1便当り 利用者数
263	26	893	34.3	4.3	25	26	515	19.8	5.0	22	26	378	14.5	3.6	2.8
合計	26	893	34.3	4.3	23	26	515	19.8	5.0	22	26	378	14.5	3.6	2.4
264	26	995	38.3	4.8	30	26	585	22.5	5.6	28	26	410	15.8	3.9	3.2
265	27	850	31.5	3.9	24	27	463	17.1	4.3	21	27	387	14.3	3.6	2.7
266	25	917	36.7	4.6	26	25	579	23.2	5.8	26	25	338	13.5	3.4	2.5
267	27	1038	38.4	4.8	26	27	664	24.6	6.1	25	27	374	13.9	3.6	2.7
268	26	1065	41.0	5.1	30	26	635	24.4	6.1	30	26	430	16.5	4.1	3.0
269	26	1173	45.1	5.6	29	26	658	25.3	6.3	27	26	515	19.8	5.0	3.2
合計	157	6038	38.5	4.8	27	157	3584	22.8	5.7	26	157	2454	15.6	3.9	2.9
累計	183	6931	37.9	4.2	24	183	4099	22.4	5.6	24	183	2832	15.5	3.9	2.5

事業 の 評価

平成 24 年 2 月より上郡ルート、同年 3 月より備前ルートの実証運行を 2 年間実施の後、平成 26 年 3 月より圏域バス「ていじゅうろう」として本格運行を開始した。圏域間を結ぶ公共交通ネットワークとして、高齢者等交通弱者の移動手段の確保に資するなど、一定の成果があったものとする。

達成 状 況

達成 一部達成 検討中

今 後 の 方 向 性

継続 (拡充) 継続 (現状維持) 継続 (改善) 継続 (縮小)
 継続 (統合) 休止 廃止 終了

事業名	J R 利便性向上事業		関係市町			
					備前市・赤穂市・上郡町	
事業内容	J R 山陽本線、赤穂線を利用する住民や圏域を訪れる人たちの移動手段と利便性の向上を図るため、関係市町により J R 西日本等関係機関への働きかけを行う。					
効果	公共交通手段の確保により、圏域住民の生活エリアの拡大、高齢者等交通弱者の移動手段の確保並びに地域の活性化を図る。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	57,240	37,013	49,640	24,100	130,000	297,993
平成 22 年度 事業 の 内容						
【県要望会】 平成 22 年 11 月 8 日 岡山県要望会（岡山会場） 平成 22 年 11 月 11 日 兵庫県要望会（兵庫会場） 兵庫・岡山両県境隣接市町村協議会の県に対する J R 関係要望の中に、東備西播定住自立圏の文言を入れ PR を図る。						
【J R 要望会】 平成 23 年 2 月 2 日 J R 西日本岡山支社にて要望会の実施 平成 23 年 2 月 9 日 J R 西日本神戸支社にて要望会の実施 3 市町合同で各支社を訪問し、直接要望活動や意見交換を行う。						
平成 23 年度 事業 の 内容						
◆ J R への要望会（兵庫・岡山両県境隣接市町村振興協議会） 平成 24 年 2 月 20 日 J R 岡山支社要望会 平成 24 年 3 月 19 日 J R 神戸支社要望会						
平成 24 年度 事業 の 内容						
◆ J R への要望会（兵庫・岡山両県境隣接市町村振興協議会、兵庫県、岡山県） 平成 25 年 2 月 13 日 J R 西日本岡山支社要望会 平成 25 年 3 月 4 日 J R 西日本神戸支社要望会						
平成 25 年度 事業 の 内容						
◆ J R への要望会（兵庫・岡山両県境隣接市町村進行協議会、兵庫県、岡山県） 平成 26 年 2 月 21 日 J R 西日本岡山支社要望会 平成 26 年 3 月 17 日 J R 西日本神戸支社要望会						
平成 26 年度 事業 の 内容						
◆ J R への要望会（兵庫・岡山両県境隣接市町村進行協議会、兵庫県、岡山県） 平成 27 年 2 月 予定 J R 西日本岡山支社要望会 平成 27 年 3 月 予定 J R 西日本神戸支社要望会						
事業 の 評価						
J R 西日本岡山支社および神戸支社への要望活動により、圏域内の在来線発着回数の増加など、一定の成果があったものとする。						

達 成 状 況			
<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 一部達成	<input type="checkbox"/> 検討中	
今 後 の 方 向 性			
<input type="checkbox"/> 継続（拡充）	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持）	<input type="checkbox"/> 継続（改善）	<input type="checkbox"/> 継続（縮小）
<input type="checkbox"/> 継続（統合）	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了

イ ICTインフラ整備

(ア) 地域情報ネットワークシステムの構築

○取組の内容

圏域内の地域情報を、行政、各種団体、個人が、インターネットを介し、容易に発信や入手できる地域コミュニティサイトの構築に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に赤穂市と協力して取り組む。	地域コミュニティサイトを検討する会議を主催し、地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に上郡町と協力して取り組む。	地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に備前市及び赤穂市と協力して取り組む。

事業名	地域情報活性化事業						関係市町
							赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域内の地域情報の交流と活性化を図り、魅力ある圏域を形成するため、ICT技術を活用した地域SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を構築し、運営する。						
効果	公式ホームページによる行政情報は行政からの一方通行であるが、地域SNSは、行政と住民、住民と住民など、双方向から発信することができるため、関係市町間及び行政と住民間の情報共有並びに地域社会及び地方行政への住民参画を図る。						
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計	
	—	936,579	1,852,200	5,183,850	930,000	8,902,629	
平成22年度事業の内容							
1. 総務省委託事業「地域ICT利活用広域連携事業」に、「地域防災」と「圏域SNS」の構築を事業内容として応募 ⇒ 結果「不採択」							
2. ASP(民間のサービスを利用する)方式によるSNS事業へ実施方法を変更して行う。							
平成23年度事業の内容							
平成23年 4月22日	SNSシステム構築と運営形態を決定						
平成23年 9月26日	規約、名称、愛称、ドメイン名及び運営方法の決定						
平成23年10月 7日	地域SNSの本格運用開始						
平成24年 2月	各部会職員を対象に研修を実施						
平成24年度事業の内容							
SNSを引き続き運用中							
圏域ホームページも兼ねた地域ポータルサイトの構築により、地域コミュニティの活性化を図る。							
平成25年3月31日	地域ポータルへの移行により、協議会事務局用SNSサービス停止						
平成25年度事業の内容							
SNSを引き続き運用							
圏域ホームページも兼ねた地域ポータルサイトの構築により、地域コミュニティの活性化を図った。							
平成25年9月2日	各市町の公式ホームページとデータ連携開始						
平成26年度事業の内容							
SNSを引き続き運用							
平成26年6月	ともりんく啓発リーフレット、追加印刷の窓口への配布						

事業の評価

圏域のポータルサイトは構築し運用を開始しているが、地域住民からの積極的な書き込み等の利用が少ないことから、今後はさらに地域情報の充実を図るソフト面での活用を検討する必要がある。

達成状況

達成 一部達成 検討中

今後の方向性

継続（拡充） 継続（現状維持） 継続（改善） 継続（縮小）
継続（統合） 休止 廃止 終了

事業名	圏域ホームページ作成事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域情報を住民に広く周知するため、関係市町公式ホームページとは別に関係市町で組織する東備西播定住自立圏形成推進協議会のホームページを作成し、情報を発信する。					
効果	圏域のイベント情報や東備西播定住自立圏形成推進協議会の状況等定住自立圏形成に必要な情報を発信し、情報の共有化を図る。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	2,378,250	—	—	2,378,250
平成22年度事業の内容						
【進捗状況】						
1. 平成22年5月7日 「東備西播定住自立圏形成推進協議会」のホームページを開設 (赤穂市のWebサーバ内)						
2. 各市町からの情報を適宜追加登録し、運用を図る						
3. ホームページにアクセスカウンターを設置						
平成23年度事業の内容						
◆平成23年9月15日 赤穂市ホームページリニューアルに伴う、圏域ホームページの移行						
◆今後のホームページの在り方について検討 外部データセンター方式により、平成24年度に新たに構築する。						
平成24年度事業の内容						
平成24年 7月 5日 赤穂商工会議所(商会)で、圏域ポータルサイトに関する簡単な説明と案内を実施						
平成24年 9月14日 圏域ポータルサイト契約 契約先 フューチャーリンクネットワーク						
平成24年10月15日～25日 ポータルサイト愛称募集						
平成24年10月26日 愛称選考 応募総数65件 愛称「東備西播ともしんく」						
平成24年11月14日 東備西播定住自立圏ポータルサイト「東備西播ともしんく」オープン						
事業の評価						
圏域のホームページを「ともしんく」内に作成したことにより終了						
達成状況						
<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 検討中						
今後の方向性						
<input type="checkbox"/> 継続(拡充) <input type="checkbox"/> 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> 継続(改善) <input type="checkbox"/> 継続(縮小)						
<input type="checkbox"/> 継続(統合) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終了						

ウ. 地域内外の住民との交流・移住促進

(ア) 住民交流

○取組の内容

圏域内の住民交流を活性化させるため、赤穂国際音楽祭等住民交流に資するイベント等を実施又は支援し、にぎわいの創出、相互の理解を深める。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。	赤穂国際音楽祭等の開催に向けて必要な調整を行うとともに、備前市と連携して住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。	備前市及び赤穂市と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。

事業名	定住自立圏フォーラム開催事業					関係市町	
						赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	定住自立圏の制度や取組み内容について、住民の方々に幅広く周知するとともに、圏域外へも情報発信するため、フォーラムを開催する。						
効果	定住自立圏構想について住民の理解を深めるとともに、住民相互の交流と魅力ある圏域づくりのための住民参画を進め、圏域住民と行政の協働によるまちづくりを推進する。						
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計	
	3,199,128	—	—	—	—	3,199,128	
平成22年度事業の内容							
【実施内容】							
日時	平成22年7月3日(土) 13時30分～16時						
場所	赤穂市文化会館 小ホール						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演：「定住自立圏構想が描く未来」元総務大臣 増田寛也氏 ・パネルディスカッション：3市町首長、増田氏 (コーディネーター 山崎神戸新聞姫路支社長) 						
来場者	約380人						
事業の評価							
定住自立圏に対する住民の理解を深め、現在の東備西播定住自立圏の各種事業に圏域住民が参画するきっかけづくりとなったことで、一定の成果があったものとする。							
達成状況							
<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 検討中							
今後の方向性							
<input type="checkbox"/> 継続(拡充) <input type="checkbox"/> 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> 継続(改善) <input type="checkbox"/> 継続(縮小) <input type="checkbox"/> 継続(統合) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終了							

事業名	民間イベント等助成事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	民間事業者等が行うイベントで、圏域内の複数の市町において実施するとともに、圏域内外の住民交流の促進と賑わいの創出、相互の理解を深めるために実施するものに対し、助成を行う。					
効果	住民の交流を促進するとともに、住民自身の直接参画によるイベント等の開催を支援することにより、住民と行政の協働による圏域づくりを目指した取り組みを進める。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	1,034,415	1,596,797	2,013,940	2,520,950	3,060,000	10,226,102

平成22年度事業の内容

平成22年6月29日 幹事会公開審査会（赤穂市役所）で次の9団体を支援決定（申請10団体）

忠臣蔵交流囲碁大会 (忠臣蔵交流楽基会)	3市町囲碁クラブを中心とした囲碁大会を、赤穂市花岳寺本堂等で開催した。
テニス大会 (赤穂市テニス協会)	テニスによる3市町のスポーツ振興と交流を図ることを目的に「東備西播テニス選手権大会」を備前テニスセンターで開催した。
定住自立圏推進交流中学校軟式野球大会 (赤穂軟式野球協会)	赤穂市5中学校、備前市5中学校、上郡町1中学校の11チームにより、第1回定住自立圏推進交流中学校軟式野球大会を開催した。
東備西播定住自立圏域市町 親善ゲートボール大会 (赤穂市ゲートボール協会)	3市町住民によるゲートボール大会を赤穂市城南緑地陸上競技場で開催した。
安室ダムまつり (安室ダムまつり実行委員会)	「第18回安室ダムまつり」で、圏域交流を推進するための「交流ステージ」を設け、文化交流を図った。
赤穂・上郡・備前絵マップ交流2010 (あこう絵マップコンクール実行委員会)	3市町の子どもたちが絵マップを通じた交流を行い、互いの地域に関心を持つための発表会及び作品展を開催した。
幼児から高齢者までサッカーを通じた健康づくり、仲間づくり及び地域づくりの推進 (エンジョイサッカー実行委員会)	3市町の小学生や高校生、社会人によるサッカー交流イベント及び地域交流サッカー大会を開催した。
三石灯りの街・三石写真美術館 (Mプロジェクト協議会)	「三石灯りの街」「三石写真美術館」事業を拡大し、3市町による住民交流と賑わいの創出、相互理解を深めるライトアップ事業を開催した。
まちぶら東備西播 (まちの達人おすすめのみちあるきコース) (日生町観光協会)	この圏域の魅力の再発見と、各市町のまち歩きコースを設定したまちぶらを実施した。

○各事業PR等の支援

- ・各事業PR等の支援、事業報告、報告公開（事業が終了し、報告書が提出されたものから協議会ホームページで公開）

平成23年度事業の内容

- ・平成23年度募集期間：3月15日～4月15日、応募団体8団体
- ・平成23年4月24日 公開審査（赤穂市役所）

次の8事業について支援を決定した。

忠臣蔵交流囲碁大会 (忠臣蔵交流楽基会)	昨年度に引続き、3市町の囲碁クラブを中心として地元商店街や老人会等もスタッフとして参画した囲碁大会を、赤穂市花岳寺本堂等で開催します。また、囲碁を次世代に伝承するため、3世代交流囲碁教室も開催する。
テニス大会 (赤穂市テニス協会)	23年度も、赤穂市テニス協会、備前市テニス協会及び上郡町住民で構成する実行委員により、3市町のスポーツ振興と交流を図ることを目的とした「東備西播テニス選手権大会」を開催します。
定住自立圏推進交流中学軟式野球大会 (赤穂軟式野球協会)	赤穂市5中学校、備前市5中学校、上郡町1中学校の11チームにより、第2回定住自立圏推進交流中学校軟式野球大会を開催します。
東備西播定住自立圏域市町親善ゲートボール大会 (赤穂市ゲートボール協会)	1チーム5人編成(登録は8人以内)により、3市町住民によるゲートボール大会を22年度に引続き、上郡町で開催します。
幼児から高齢者までサッカーを通じた健康づくり、仲間づくり及び地域づくりの推進 (エンジョイスoccer実行委員会)	昨年度に引続き、3市町の小学生や高校生、社会人によるサッカー交流イベント及び地域交流サッカー大会を開催します。
まちぶら東備西播 (まちな達人おすすめのみちあるきコース) (日生町観光協会)	東備西播地域には、恵まれた観光資源(牡蠣、閑谷学校、義士、塩、赤松氏など)があるが、この地域に住んでいながら今まで気づかなかったまち(圏域)の魅力の再発見と合わせ、観光ボランティアガイドの育成を目指し、各市町のまち歩きコースを設定した、まちぶらを昨年に引続き、実施します。
はりまりコーダー交流会in上郡 funasaka (リコーダーアンサンブル・ドルチェ)	圏域内外の住民交流を促進し、賑わいの創出、交流を図ることを目的にリコーダー交流会を開催します。また、特産物の販売や「ふれあい喫茶」を開催し、地域及び圏域内外の方々のおもてなしを行います。
戦国武将よろいカブト交流事業 2011 (赤松地区むらづくり推進委員会)	赤松円心ゆかりの地上郡町赤松地区が、赤松氏ゆかりのある備前市片上地区との交流を更に深めるため、カブト手作り教室を「白旗城まつり」の一事業として開催し、地域間の歴史的つながりの再確認と交流、親睦を深めます。

- ・各事業PR等支援、事業報告、報告公開（事業が終了し、報告書が提出されたものから協議会ホームページで公開）

平成24年度事業の内容

- ・平成24年度応募団体 13団体
- ・平成24年4月22日開催の公開審査会（赤穂市役所）において、次の13事業について支援を決定した。

	活動事業名	事業概要
	団体名	
1	忠臣蔵交流囲碁大会及びこども囲碁教室の開催	3市町の囲碁クラブを中心に、忠臣蔵交流囲碁大会を開催し、囲碁を通じた健全なこども育成事業としてこども囲碁教室を開催した。
	忠臣蔵交流楽碁会	
2	第3回上郡町・赤穂市・備前市 定住自立圏推進交流中学校軟式野球大会	3市町中学校の11チーム（赤穂5、上郡1、備前5）による第3回上郡町・赤穂市・備前市定住自立圏推進交流中学校軟式野球大会を、上郡町スポーツセンター野球場及び赤穂城南緑地公園野球場で開催した。
	上郡町軟式野球協会	
3	東備西播定住自立圏域市町 第3回親善ゲートボール大会	3市町及び近隣市町の住民による第3回ゲートボール大会を、赤穂城南緑地公園で開催した。
	東備西播定住自立圏域市町ゲートボール協議会	
4	幼児から高齢者までサッカーを通じた健康づくり、仲間づくり及び地域づくりの推進	3市町の小学生と高校生、社会人のサッカー交流イベントと合わせて、中学生及び高校生を対象とした地域交流サッカー大会を開催した。
	エンジョイサッカー実行委員会	
5 新規	第1回赤穂市・備前市・上郡町 定住自立圏推進交流ターゲットバードゴルフ大会	3市町の友好親善と交流、競技人口の増加と普及を図るため、ターゲットバードゴルフ大会を、千種川河川敷ターゲットバードゴルフ場で開催した。
	赤穂市ターゲットバードゴルフ協会	
6 新規	障害者スポーツ交流事業 AKBパラリンカップ	障がい者スポーツの更なる充実と振興を目指し、障がい者、家族多種多様な分野の人が手軽に参加できるよう、障がい者交流スポーツ大会を開催した。
	AKBパラリンカップ委員会	
7	テニス大会	3市町テニス協会による第3回東備西播ダブルステニス大会を開催した。
	赤穂市テニス協会	
8 新規	琉球ちゃんぶる	上郡町生涯学習支援センター、備前市「八塔寺ふるさと村」特設会場、赤穂海浜公園において、沖縄民謡を中心としたステージイベントを実施した。
	エイサー倶楽部ていだ《太陽》	
9	ふらっと県境まちぶら (まちの達人おすすめのまちあるきコース)	備前市観光協会、日生町観光協会、赤穂観光協会、上郡町観光協会の4協会の企画・運営による3市町まちあるきコースを設定した「まちぶら」を実施した。
	備前市観光協会	
10 新規	第1回赤穂市・備前市・上郡町 定住自立圏推進バレーボール交流大会	3市町の交流を促進することを目的に、バレーボール連盟主催の交流大会を開催した。
	備前市バレーボール連盟	
11	第2回はりまりコーダーオーケストラ・コンサートin赤穂	「はりまりコーダーオーケストラ」に、赤穂市児童合唱団をゲストに迎え、赤穂市文化会館でコンサートを開催した。
	リコーダーアンサンブル・ドルチェ	
12 新規	赤穂御崎活性化キャンペーン	赤穂御崎にある「畳岩」と海岸線の間の、干潮で道ができる場所を「恋人の聖地」とし、3市町の住民に限定した公募ウェディングを実施した。
	赤穂温泉旅館組合	
13	戦国武将よろいカブト交流事業2012	赤松円心ゆかりの地、上郡町赤松地区と備前市片上地区の交流を更に深めるため、昨年のよろいカブトに続き足軽衣装を作成し、白旗城まつりにおいて行列を行うことで、地域の親睦と交流を図った。
	赤松校区むらづくり推進委員会	

平成 25 年 度 事 業 の 内 容

- ・平成 25 年度応募団体 13 団体
- ・平成 25 年 4 月 21 日開催の公開審査（赤穂市役所）において、次の 13 事業について支援を決定した。（イベント参加人数） 延べ 3, 242 人

	活動事業名	事業概要
	団体名	
1	東備西播定住自立圏域市町 第 4 回親善ゲートボール大会 東備西播定住自立圏域市町ゲートボール協議会	ゲートボール愛好者及び高齢者の健康増進と圏域住民の交流・親睦を図ることを目的に、6 月に赤穂市城南緑地公園などでゲートボール大会を開催します。
2	備前焼親子陶芸教室 ～親子で灯りをともそう～ いんべ 100 万人プロジェクト委員会	3 市町において親子陶芸教室を実施し、地域資源である備前焼の良さを体感してもらうとともに、製作した灯籠の展示などを行う「灯.街道（あかりかいどう）」というイベントを 9 月に備前市で実施し、交流を促進していきます。【新規】
3	忠臣蔵交流囲碁大会及びこども囲碁教室の開催 忠臣蔵交流楽基会	3 市町の囲碁クラブ有志が連携し、近隣市町に呼びかけ、世代間交流の場として 12 月に忠臣蔵交流囲碁大会を開催するとともに、囲碁を次世代に伝承するため、こども囲碁教室を開催します。
4	第 4 回赤穂市・備前市・上郡町 定住自立圏推進交流中学校軟式野球大会 赤穂軟式野球協会	3 市町のスポーツ交流を目的に、上郡町 1 中学校、赤穂市 5 中学校、備前市 5 中学校の 11 チームにより、10 月頃に上郡町スポーツセンター野球場及び赤穂城南緑地公園野球場において軟式野球大会を開催します。
5	第 2 回赤穂市・備前市・上郡町定住自立圏推進交流ターゲットバードゴルフ大会 赤穂市ターゲットバードゴルフ大会	5 月に千種川河川敷において開催するターゲットバードゴルフ大会を通じ、3 市町の交流を図るとともに、生涯スポーツとして健康づくりにも寄与します。
6	AKB 杯ソフトバレーボール大会 （第 2 回東備西播ソフトバレーボール大会） 赤穂市バレーボール大会	3 市町の交流を目的としたソフトバレーボール大会を 12 月に赤穂市民総合体育館で開催するとともに、体力づくりや健康維持、コミュニケーションづくりに寄与します。
7	テニス大会 赤穂市テニス協会	3 市町のスポーツ振興と交流を図ることを目的に、10 月に備前市運動公園テニスセンターでダブルステニス大会を実施します。
8	まちぷら東備西播 （まちの達人おすすめのみちあるきコース） 日生町観光協会	3 市町の観光協会の企画・運営により、7～8 の「まちあるき」コースを設定し、各市町の魅力を発信します。
9	障害者スポーツ交流事業 AKB パラリンカップ AKB パラリンカップ委員会	3 市町および周辺地域の障がい者、家族及びボランティアの方の運営により、多種多様な分野の人が手軽に参加できるスポーツ交流事業を実施します。
10	マティアス・ヴァレイマン リコーダープレミアムコンサート閉谷 特定非営利活動法人オフィス・ドルチェ	音楽を通じた交流を図るため、世界トップレベルの演奏家を招へいし、3 月に閉谷小学校において、演奏会及び講習会を実施します。
11	戦国武将よろいカブト交流事業 2013 赤松地区むらづくり推進委員会	圏域内の地域資源を活かした文化交流を図るため、赤松円心ゆかりの地らしく、甲冑を作成し、11 月の「白幡城まつり」などにおいて行列を披露します。
12	赤穂御崎活性化事業 赤穂温泉旅館組合	赤穂市御崎にある「壘岩」と海岸線の間、干潮で道ができる場所を「恋人の聖地」とし、3 市町在住の方に限定した公募ウェディングを実施します。
13	幼児から高齢者までサッカーを通じた健康づくり、仲間作り及び地域づくりの推進 エンジョイサッカー実行委員会	スポーツを通じ世代、地域をこえた交流を図るため、3 市町の小学生と高校生、社会人のサッカー交流イベント及び中学生及び高校生を対象とした地域交流サッカー大会を開催します。

平成 26 年 度 事 業 の 内 容

・平成26年度応募団体 16団体

・平成26年4月27日開催の公開審査（赤穂市役所）において、次の16事業について支援を決定した。

	活動事業名	事業概要
	団体名	
1	第5回赤穂市・備前市・上郡町 定住自立圏内中学校交流軟式野球大会 備前市軟式野球連盟	3市町のスポーツ交流を目的に、上郡町1中学校、赤穂市5中学校、備前市5中学校の11チームにより、11月に備前市総合運動公園及び浜山運動公園において軟式野球大会を開催します。
2	障害者スポーツ交流事業 AKBパラリンカップ AKBパラリンカップ委員会	3市町および周辺地域の障がい者、家族及びボランティアの方の運営により、多種多様な分野の人が気軽に参加できるスポーツ交流事業を実施します。
3	上郡ダンスフェスティバル ～K・D・F～ 特定非営利活動法人 円心	ゴールデンウィークに、上郡町B&Gスポーツセンターにおいて、近隣のダンスチームの子ども達によるヒップホップダンスの披露と、農作物やご当地グルメ、芸能などの地域資源をPRするイベントを実施します。
4	東備西播定住自立圏域市町 第5回親善ゲートボール大会 上郡町ゲートボール協会	ゲートボール愛好者及び高齢者の健康増進と圏域住民の交流・親睦を図ることを目的に、9月に赤穂市城南緑地公園などでゲートボール大会を開催します。
5	戦国武将よろいカブト交流事業2014 赤松地区むらづくり推進委員会	圏域内の歴史資源を活かした文化交流を図るため、赤松円心ゆかりの地らしく、親子などで手づくりのよろいカブトを作成し、11月の「白旗城まつり」12月の「赤穂義士祭」などにおいて行列を披露します。
6	幼児から高齢者までサッカーを通じた健康づくり、仲間づくり及び地域づくりの推進 エンジョイサッカー実行委員会	スポーツを通じ世代、地域をこえた交流を図るため、3市町の小学生と高校生、社会人のサッカー交流イベント及び中学生及び高校生を対象とした地域交流サッカー大会を開催します。
7	第3回赤穂市・備前市・上郡町定住自立圏推進交流ターゲットバードゴルフ大会 赤穂市ターゲットバードゴルフ協会	11月に千種川河川敷において開催するターゲットバードゴルフ大会を通じ、3市町の交流を図るとともに、生涯スポーツとして健康づくりにも寄与します。
8	まちぶら東備西播 (まちなみおすすめのまちあるきコース) 日生町観光協会	3市町の観光協会の企画・運営により、観る・動く・体験・食すなどのテーマで様々な「まちあるき」コースを設定し、何度でも来たいくなるような各市町の魅力を発信します。
9	第1回東備西播定住自立圏ペタンク交流大会 赤穂市ペタンク協会	11月に関西福祉大学などでペタンク大会を実施し、3市町の交流を図るとともに、競技人口の増加を促進します。
10	忠臣蔵交流囲碁大会及びこども囲碁教室の開催 忠臣蔵交流楽碁会	3市町の囲碁愛好家が連携し、世代間交流の場として11月に関西福祉大学において忠臣蔵交流囲碁大会を開催するとともに、囲碁を次世代に伝承するため、こども囲碁教室を開催します。
11	ファミリーコンサート 赤穂市地域活動連絡協議会	10月に赤穂市文化会館において、広い世代で楽しめるファミリーコンサートを開催し、圏域内の母親クラブの活動をPRするとともに、子育て世代の情報交換の場を提供します。
12	AKB杯ソフトバレーボール大会 (第3回東備西播ソフトバレーボール大会) 上郡町バレーボール協会	3市町の交流を目的としたソフトバレーボール大会を11月に上郡町総合体育館で開催するとともに、体力づくりや健康維持、コミュニケーションづくりに寄与します。
13	テニス大会 赤穂市テニス協会	3市町のスポーツ振興と交流を図ることを目的に、10月に備前市運動公園テニスセンターでダブルステニス大会を実施します。
14	備前焼親子陶芸教室 ～親子で灯りをともそう～ いんべ100万人プロジェクト委員会	3市町において親子陶芸教室を実施し、地域資源である備前焼の良さを体感してもらうとともに、製作した灯籠の展示などを行う「灯. 街道(あかりかいどう)」というイベントを9月に備前市で実施し、交流を促進していきます。
15	赤穂で街コン! 47×47 ～義士の街で大願成就～ 赤穂街コン実行委員会	12月に赤穂市内飲食店舗において交流事業を実施することで、若年男女の出会いの場を提供し、圏域内への定住や地域の活性化を促進します。
16	第1回東備西播定住自立圏ミニバスケットボール交流大会 赤穂市バスケットボール協会	3市町の小学生と住民のスポーツを通じた交流を目的に、27年2月に赤穂市民総合体育館などでミニバスケットボール大会を実施します。

事業の評価

圏域内のさまざまな民間イベント実施団体に対し助成することで、圏域内の住民交流を促進するとともに、にぎわいの創出、3市町の相互理解に資することができ、一定の成果があったものとする。

達成状況

達成 一部達成 検討中

今後の方向性

継続（拡充） 継続（現状維持） 継続（改善） 継続（縮小）
継続（統合） 休止 廃止 終了

事業名	赤穂国際音楽祭開催助成事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域内外の住民交流を促進し、住民の賑わいを創出するために行う赤穂国際音楽祭の開催に対して助成を行う。					
効果	圏域の魅力を支赤穂国際音楽祭を通して日本全国、世界に発信するとともに、住民参加により地域に根ざしたイベントとして充実・発展させる。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	900,000	800,000	1,000,000	800,000	3,500,000
平成23年度事業の内容						
<p>・赤穂国際音楽祭～LePont2011～において、平成23年7月4日（月）に定住自立圏枠200席を確保し募集を行った。 結果、39名の応募があり、備前市・上郡町からそれぞれ送迎バスを運行した。</p> <p>◆赤穂国際音楽祭日程 開催日：平成23年7月1日（金）～4日（月） 開催場所：赤穂市文化会館ハーモニーホール</p>						
平成24年度事業の内容						
<p>ル・ポン2012（赤穂国際音楽祭・姫路国際音楽祭）として、姫路との共催により開催</p> <p>◆赤穂国際音楽祭 開催日：平成24年10月5日（金）～6日（木） 定住自立圏枠設置日 10月5日（金） 開催場所：赤穂市文化会館ハーモニーホール</p> <p>◆定住自立圏チケットを200席分確保し、備前市民及び上郡町民向けに販売。（実績＝102席） ◆定住自立圏チケット購入者には、備前市役所、日生支所及び上郡町役場を発着とする送迎バスを運行した。</p>						
平成25年度事業の内容						
<p>ル・ポン2013（赤穂国際音楽祭・姫路国際音楽祭）として、姫路との共催により開催</p> <p>◆赤穂国際音楽祭 開催日：平成25年10月4日（金）～8日（火） 定住自立圏枠設置日 10月5日（土）、8日（火） 開催場所：赤穂城跡特設会場、赤穂市文化会館ハーモニーホール</p>						

- ◆定住自立圏チケットを200席分確保し、備前市民及び上郡町民向けに販売。(実績＝91席)
- ◆定住自立圏チケット購入者には、備前市役所、日生支所及び上郡町役場を発着とする送迎バスを運行した。

平成26年度事業の内容

ル・ポン国際音楽祭2014 赤穂・姫路として、姫路との共催により開催

◆赤穂国際音楽祭

開催日：平成26年10月13日(月祝)～14日(火)

定住自立圏枠設置日 10月14日(火)

開催場所：赤穂市文化会館ハーモニーホール

- ◆定住自立圏チケットを200席分確保し、備前市民及び上郡町民向けに販売。(実績＝64席)
- ◆定住自立圏チケット購入者には、備前市役所、日生支所及び上郡町役場を発着とする送迎バスを運行した。

事業の評価

ル・ポン国際音楽祭のチケットを、定住自立圏枠として備前市、上郡町在住の方に販売することにより、圏域内在住の方が優先的にコンサートを堪能することができた。圏域内活性化の面で一定の成果があったものとする。

達成状況

- 達成
 一部達成
 検討中

今後の方向性

- 継続(拡充)
 継続(現状維持)
 継続(改善)
 継続(縮小)
- 継続(統合)
 休止
 廃止
 終了

事業名	こどもと学生のふれあい活動支援事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域内の大学である関西福祉大学が実施する学生ボランティアによるこどものための宿題教室等、こどもと学生がふれあう活動を支援する。					
効果	圏域内のこども達の学力向上を図るとともに、世代間交流により、社会性を備えた豊かな心を育む。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	78,011	110,000	188,011
平成25年度事業の内容						
【実施日】						
平成25年8月 9日(金) 赤穂市(関西福祉大学内の教室) 参加小学生124名						
20日(火) " " 104名						
6日(火) 上郡町(交流広場「菊森さんの家」) " 46名						
25日(日) 備前市(備前市市民センター) " 6名						
平成26年度事業の内容						
【実施日】						
平成26年8月 6日(水) 赤穂市(関西福祉大学内の教室) 参加小学生126名						
19日(火) " " 116名						
4日(月) 上郡町(交流広場「菊森さんの家」) " 38名						
5日(火) " " 34名						
10日(日) 備前市(備前市市民センター) 警報発令のため中止						
事業の評価						
<p>本事業により、圏域内の小学生が勉強に対する新たな方向性を見出すことができ、同時に普段接することのない大学生とコミュニケーションをとる機会を設けることができる。これにより圏域内の宝である子どもの育成と住民交流の活性化に資することができ、一定の効果があったものと考えられる。</p>						
達成状況						
<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 検討中						
今後の方向性						
<input type="checkbox"/> 継続(拡充) <input checked="" type="checkbox"/> 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> 継続(改善) <input type="checkbox"/> 継続(縮小) <input type="checkbox"/> 継続(統合) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終了						

(イ) 移住の促進

○取組の内容

圏域外からの人の流れを創出し魅力ある圏域を作るため、連携して移住情報の発信を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。	神戸市等の主要な都市部における定住相談会の開催等により、圏域の移住情報の発信を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。	定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町合同による定住相談会を神戸市等の主要な都市部で開催し、各市町で実施している定住支援策等の情報を発信し、移住希望者の定住先として本圏域を選択してもらえるよう定住促進事業を実施する。					
効果	住んでみたいと感じてもらえる魅力のある圏域づくりに努め、その情報を圏域外へ発信するとともに、圏域の存在をアピールして、圏域外からの移住及び交流人口の増加を図る。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	858,680	1,072,795	1,651,898	1,789,981	1,837,000	7,210,354
平成22年度事業の内容						
【実施の状況】						
◆ <u>関東会場</u>						
「ふるさと回帰フェア2010」に参加						
開催日：平成22年9月23日						
場所：早稲田大学 10時～17時						
内容：北海道から鹿児島まで、全国から178団体が112のブースで相談実施 定住説明、資料配布対応（来場者総数17,015人）						
◆ <u>関西会場</u>						
開催日：平成23年3月19日						
場所：神戸国際会館（三宮駅前） 10時30分～16時						
内容：「定住相談会」の開催 3市町職員による定住相談会（来場者 11組16人）						

平成 23 年度 事業 の 内容

◆関東会場

- ・「ふるさと回帰フェア2011東京会場」に参加

開催日：平成23年9月23日（

開催場所：早稲田大学

- ・自治体相談コーナー出展 10時～17時

定住説明、資料及び粗品（特産品）配布

ブース来場者数

：定住相談・・・36組、PRパンフレット等配布・・・約400組

◆関西会場

- ・「定住相談会」の開催

開催日：平成24年3月17日（土）10時30分～16時

開催場所：神戸国際会館8階会議室（三ノ宮駅前）

- ・3市町職員による定住相談会

来場者数：定住相談・・・24組（29名）

平成 24 年度 事業 の 内容

◆東京会場

「ふるさと回帰フェア2012東京」に参加

開催日：平成24年9月17日

場所：早稲田大学 10時～17時

内容：3市町職員による定住相談会（相談件数 45組58人）

◆大阪会場

「ふるさと回帰フェア2012大阪」に参加

開催日：平成24年9月29日

場所：シティプラザ大阪 10時～17時

内容：3市町職員による定住相談会（相談件数 57組73人）

◆神戸会場

「東備西播定住自立圏形成推進協議会定住相談会」を開催

開催日：平成25年3月16日

場所：神戸国際会館 804会議室 10時30分～16時

内容：3市町職員による定住相談会（相談件数 22組24人）

平成 25 年度 事業 の 内容

◆東京会場

「ふるさと回帰フェア2013 in 東京」に参加

開催日：平成25年9月8日（日）

場 所：早稲田大学

内 容：3市町職員による定住相談会（相談件数 39組51人）

◆大阪会場

「ふるさと回帰フェア2013 in 大阪」に参加

開催日：平成25年9月21日（土）

場 所：シティプラザ大阪

内 容：3市町職員による定住相談会（相談件数 34組55人）

◆神戸会場

「東備西播定住自立圏形成推進協議会定住相談会」を開催

開催日：平成26年3月15日（土）

場 所：神戸国際会館

内 容：3市町職員による定住相談会（相談件数 10組13人）

平成 26 年度 事業 の 内容

◆大阪会場

「ふるさと回帰フェア2014 in 大阪」に参加予定

開催日：平成26年10月25日（土）

場 所：シティプラザ大阪

内 容：3市町職員による定住相談会

◆神戸会場

「東備西播定住自立圏形成推進協議会定住相談会」を開催予定

開催日：平成27年3月

場 所：神戸国際会館

内 容：3市町職員による定住相談会

事業 の 評価

3市町職員による定住相談会を主要都市で実施することで、相談者に対し圏域のさまざまな情報をPRし、圏域内に住んでもらえるきっかけづくりの場となった。圏域内への定住施策の面で一定の効果があつたものとする。

達 成 状 況			
<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 一部達成	<input type="checkbox"/> 検討中	
今 後 の 方 向 性			
<input type="checkbox"/> 継続（拡充）	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持）	<input type="checkbox"/> 継続（改善）	<input type="checkbox"/> 継続（縮小）
<input type="checkbox"/> 継続（統合）	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了

3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

ア 圏域内の職員等の交流

○取組の内容

職員の資質向上及び圏域マネジメント能力の強化を図るため、圏域外の専門家の招へいや、合同研修、職員交流を実施する。

備前市の役割	赤穂市の役割
a 備前市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 赤穂市と協議の上、圏域の活性化を図るために必要な圏域外の専門家を招へいする。	a 赤穂市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 備前市と協議の上、圏域外の専門家の招へいに協力する。
備前市の役割	上郡町の役割
a 備前市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 上郡町と協議の上、圏域の活性化を図るために必要な圏域外の専門家を招へいする。	a 上郡町が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 備前市と協議の上、圏域外の専門家の招へいに協力する。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	職員の能力向上を図るため、圏域内の共通の課題をテーマに各市町職員を対象とした集合研修等の研修を実施する。					
効果	職員の能力及び資質の向上を図るとともに、圏域全体にわたる事業運営の円滑化と職員間の一体感を醸成させる。					
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	44,392	283,760	119,863	95,365	366,000	909,380

平成22年度事業の内容

1. 各市町職員集合研修

◇日時 平成22年7月29日(木) 14時～

◇場所 赤穂市文化会館(ハーモニーホール) 2階学習室

◇内容(講義形式)

定住自立圏構想について(総務省地域力創造グループ地域自立応援課主幹 北村崇史氏)

東備西播定住自立圏形成推進のために(赤穂市企画振興部長 橘直良氏)

◇参加者 管理監督職員 73名(赤穂市39名、備前市22名、上郡町12名)

平成 23 年度 事業 の 内容

1. 先進圏域視察

- ◇日 程 平成24年1月18日(水)～19日(木)
- ◇視察先 福岡県久留米市(久留米広域定住自立圏)
大分県中津市(九州周防灘地域定住自立圏)※県境型
- ◇参加者 備前市2名 赤穂市2名 上郡町2名 計6名

2. 先進圏域視察報告会を、各市町職員合同研修として実施

- ◇日 時 平成24年2月2日(木) 10時～
- ◇場 所 備前市役所
- ◇参加者 備前市22名 赤穂市11名 上郡町7名 計40名

平成 24 年度 事業 の 内容

1. 先進圏域視察

- ◇日 程 平成25年2月7日(木)～8日(金)
- ◇視察先 高知県四万十市(幡多地域定住自立圏)※複眼型中心市
香川県丸亀市(瀬戸内中讃定住自立圏)
- ◇参加者 備前市2名 赤穂市2名 上郡町2名 計6名

2. 先進圏域視察報告会を、各市町職員合同研修として実施

- ◇日 時 平成25年3月15日(金) 13時30分～
- ◇場 所 上郡町役場
- ◇参加者 備前市6名 赤穂市4名 上郡町9名 計19名

平成 25 年度 事業 の 内容

1. 先進圏域視察

- ◇日 程 平成26年2月12日(水)～13日(木)
- ◇視察先 鳥取県米子市(中海圏域定住自立圏)※県境型圏域・複眼型中心市
鳥取県鳥取市(鳥取・因幡定住自立圏)※県境型圏域
- ◇参加者 備前市2名 赤穂市2名 上郡町2名 計6名

2. 先進圏域視察報告会を、各市町職員合同研修として実施

- ◇日 時 平成26年3月27日(木) 10時～
- ◇場 所 赤穂市役所
- ◇参加者 備前市4名 赤穂市9名 上郡町6名 計19名

平成 26 年度 事業 の 内容

1. 先進圏域視察(予定)

- ◇日 程 平成26年11月5日(水)～6日(木)
- ◇視察先 佐賀県武雄市(ICT推進協議会)※佐賀県唐津、伊万里、武雄の連携
福岡県大牟田市(有明圏域定住自立圏)※県境型圏域

※ 視察後、報告会を各市町職員の集合研修として実施する予定。

事業の評価			
<p>先進圏域視察により、職員の見識を広め、能力及び資質の向上を図ることができた。また、視察終了後の報告会を実施することにより、プレゼンテーション能力の向上と職員同士の一体感が醸成できた。</p> <p>今後も引き続き事業を継続したい。</p>			
達成状況			
<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 一部達成	<input type="checkbox"/> 検討中	
今後の方向性			
<input type="checkbox"/> 継続（拡充）	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持）	<input type="checkbox"/> 継続（改善）	<input type="checkbox"/> 継続（縮小）
<input type="checkbox"/> 継続（統合）	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了

事業名	職員研修参加交流事業						関係市町	
							赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	各市町において実施している職員研修に、他の関係市町の職員を受け入れる。							
効果	参加可能な研修メニューの幅が広がるとともに、職員間の交流を深める。							
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計		
	—	—	—	—	—	—		
平成22年度事業の内容								
◇実施内容								
備前市	◇平成22年8月25日(水)、26日(木)備前市市民センターにおいて人権研修を開催。 参加人数：赤穂市 7名、上郡町 2名							
赤穂市	◇平成22年10月18日(月)、19日(火)赤穂市役所において接遇研修を開催。 参加人数：備前市 9名、上郡町 9名 ◇平成22年12月21日(火)、赤穂市役所において公務員倫理研修を開催。 参加人数：備前市 14名、上郡町 4名							
上郡町	◇メンタルヘルス研修の日程が7月の集合研修の開催と重なったため、他市からは不参加となった。							
平成23年度事業の内容								
◇実施内容								
備前市	◇平成23年8月24日(水)、25日(木)備前市市民センターにおいて人権研修を開催。 参加人数：赤穂市 20名、上郡町 2名							
赤穂市	◇平成23年10月5日(水)、赤穂市役所において公務員倫理研修を開催。 参加人数：備前市 6名 ◇平成23年11月7日(月)、8日(火)赤穂市役所において接遇研修を開催。 参加人数：上郡町 9名							
上郡町	◇平成23年7月に交通安全研修を実施したが、日程の都合により他市からは不参加となった。							
平成24年度事業の内容								
◇実施内容								
赤穂市	◇平成24年10月3日(水)、赤穂市役所において公務員倫理研修を開催。 参加人数：備前市 2名 ◇上記の外、平成24年10月に接遇研修を予定していたが、日程の都合により他市町からは不参加となった。							
上郡町	◇平成25年2月5日(火)、上郡町役場において自殺対策ゲートキーパー研修を開催。 参加人数：備前市 5名、赤穂市 4名							

平成 25 年 度 事 業 の 内 容

◇実施内容

赤穂市 ◇平成25年7月25日(木)、赤穂市役所において人権啓発研修を開催。

参加人数：備前市1名、上郡町1名

◇平成25年8月7日(水)、赤穂市役所において交通安全研修を開催。

参加人数：備前市3名

◇平成25年10月16日(水)、17日(木)赤穂市役所において接遇研修を開催。

参加人数：16日 備前市9名、上郡町6名

17日 備前市6名

平成 26 年 度 事 業 の 内 容

◇上半期の進捗状況

備前市 ◇平成26年8月19日(火)、20日(水)備前市市民センターにおいて人権問題研修を開催。

参加人数：赤穂市10名、上郡町4名

赤穂市 ◇平成26年10月16日(木)、17日(金)赤穂市役所において接遇研修を開催予定。

事 業 の 評 価

他市町が主催する研修への参加を通じ、職員間の交流を図ることができた。
 今後は、研修メニューの充実と参加人数の増加が課題である。

達 成 状 況

達成

一部達成

検討中

今 後 の 方 向 性

継続(拡充)

継続(現状維持)

継続(改善)

継続(縮小)

継続(統合)

休止

廃止

終了

事業名	人事労務担当職員研究会（交流）事業					関係市町	
						赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	関係市町の人事担当部署が人事労務にかかる情報交換を図る研修・交流会を持ち回りで開催する。						
効果	人事労務に係る情報交換を行うことにより、関係市町の課題に的確・迅速に対応する。						
事業費 (円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計	
	—	—	—	—	—	—	
平成22年度事業の内容							
<p>平成22年7月14日（水）、赤穂市役所において各市町の担当職員による研究会を開催した。各市町の課題となっている事項等について情報交換を行い、集合研修の開催、職員研修参加交流事業について協議した。</p> <p>（協議事項） 昇任試験制度、採用試験（中途採用を含む）、職員の再任用、障害者雇用等について</p>							
平成23年度事業の内容							
<p>平成23年10月20日（木）、備前市役所において人事労務担当職員研究会を開催した。</p> <p>（協議事項） 災害時の時間外勤務の取扱い、障害者雇用、人事評価について 等</p>							
平成24年度事業の内容							
<p>平成24年10月17日（水）、上郡町役場において人事労務担当職員研究会を開催した。研究会では、各市町の課題となっている事項等について意見交換等を行ったほか、職員研修事業（先進地視察）、職員研修参加交流事業について協議した。</p> <p>（協議事項） 人事院勧告等に基づく対応、臨時職員の任用等、職員採用試験の実施方法について 等</p>							
平成25年度事業の内容							
<p>平成25年10月29日（火）、赤穂市役所において人事労務担当職員研究会を開催した。研究会では、各市町の課題となっている事項等について意見交換等を行ったほか、職員研修事業（先進地視察）、職員研修参加交流事業について協議した。</p> <p>（協議事項） 管理職手当の低額化、土木職等の採用、給与減額、振替休日の取得について 等</p>							
平成26年度事業の内容							
<p>上半期においては実施していない。</p> <p>今後、備前市において2市1町人事労務担当職員研究会の開催を予定しており、各市町の課題となっている事項等について情報交換を行うこととしている。</p>							

事業の評価

各市町の人事労務担当者が集まり、情報交換を行うことで、懸案事項の解決につながるとともに、違った視点から日常業務を見直すことができた。
今後も引き続き事業を継続したい。

達成状況

達成 一部達成 検討中

今後の方向性

継続（拡充） 継続（現状維持） 継続（改善） 継続（縮小）
 継続（統合） 休止 廃止 終了

事業名	専門家招へい事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	高度で専門的な知識・技術等を有し、広域的な行政運営の見識が深く、専門的な立場から指導・助言できる専門家を招へいする。					
効果	魅力ある圏域づくりに向け、多様化する住民ニーズを的確に捉え、政策立案ができる職員等を育成する。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	126,700	19,767	41,000	187,467
平成22年度事業の内容						
平成22年7月29日(木)に開催した2市1町の職員研修会において、総務省地域力創造グループ地域自立応援課の北村崇史主幹を講師として招へいし、定住自立圏構想に加え、国における新たな成長戦略ビジョン、地域づくりに対する国からの助言、支援等についての講義を実施した。						
平成23年度事業の内容						
職員交流を通じて共通する課題を整理し、総務省・兵庫県の職員派遣事業等、実施可能なものについて今後継続して検討を行う。						
平成24年度事業の内容						
総務省自治大学校、(財)自治研修協会及び兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会との共催により、以下の講演会を開催した。						
1. 講演会名	協働による地域づくり特別講演会					
2. 講演者	総務省自治財政局長 椎川 忍 氏 東京大学名誉教授 大森 彌 氏 鹿屋市串良町柳谷自治公民館長 豊重 哲郎 氏 総務省自治大学校長 株丹 達也 氏					
3. 日時	平成24年8月31日(金) 午後1時30分～午後5時30分					
4. 会場	赤穂市文化会館 ハーモニーホール 小ホール					
5. 参加者数	約300名					
平成25年度事業の内容						
総務省の人材育成等専門派遣事業を活用し、以下のとおり2市1町管理職研修等を実施した。						
1. 講演会	(1) 人材育成型人事評価制度の確立とその運用方法について 講師：早稲田大学政治経済学術院教授 稲継 裕昭 氏 (2) 地方公務員の人材育成と人事評価について 講師：総務省自治行政局公務員部給与能率推進室課長補佐 和泉 秀樹 氏					
2. 意見交換会	人事評価制度における課題等について、上記講師をアドバイザーに迎え、2市1町人事担当者による意見交換会を実施した。					
3. 日時	平成25年8月26日(月) 午後1時～午後4時					
4. 会場	赤穂市文化会館 ハーモニーホール 学習室 外					

5. 参加者数	約100名
平成26年度事業の内容	
兵庫県の協力により、以下のとおり2市1町管理職研修を実施予定。	
1. 講演会	
(1) 自治体を取り巻く環境の変化と諸課題について 講師：兵庫県企画県民部企画財政局市町振興課長 中山 貴洋 氏	
(2) 地方公会計の整備促進について 講師：兵庫県企画県民部企画財政局市町振興課財政班長 宇野 慎一郎 氏	
(3) 公務員倫理の確立について 講師：兵庫県企画県民部企画財政局市町振興課副課長 城下 隆広 氏	
2. 日 時	平成26年11月19日(水) 午後1時30分～午後4時
3. 会 場	赤穂市文化会館 ハーモニーホール 学習室
事業の評価	
<p>専門家による圏域の課題に沿った助言や情報提供を得ることで、圏域職員一人ひとりの資質向上とマネジメント能力の強化を図ることができた。</p> <p>今後も引き続き事業を継続したい。</p>	
達成状況	
<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 検討中	
今後の方向性	
<input type="checkbox"/> 継続(拡充) <input checked="" type="checkbox"/> 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> 継続(改善) <input type="checkbox"/> 継続(縮小) <input type="checkbox"/> 継続(統合) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終了	

事業名	職員交流（派遣）事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	関係市町において協議のうえ、必要に応じ職員の派遣交流を行う。					
効果	圏域全般における職員の相互理解と、職員としての資質・能力の向上を図る。					
事業費 （千円）	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	—	—	—
平成 22 年度 事業 の 内容						
研修等による職員間の交流を深めるとともに、職員の相互派遣交流についても今後継続して検討を行う。						
平成 23 年度 事業 の 内容						
研修等による職員間の交流を進めるとともに、職員の相互派遣交流についても今後継続して検討を行う。						
平成 24 年度 事業 の 内容						
平成24年11月17日（土）～18日（日）、備前市で開催された「おかやまご当地グルメフェス 備前」に、赤穂市及び上郡町から職員を派遣した。						
1. 派遣職員						
（1）赤穂市 スタッフ業務 10人（5人×2日）						
（2）上郡町 ①グルメブース（円心モロどん）4人（2人×2日）						
②ご当地キャラクター（円心くん・エイトちゃん）8人（4人×2日）						
平成 25 年度 事業 の 内容						
平成25年12月14日（土）、赤穂市で開催された「赤穂義士祭」に、備前市及び上郡町から職員を派遣した。						
1. 派遣職員 備前市3名、上郡町3名						
2. 業務内容 特設観覧席における誘導等						
平成 26 年度 事業 の 内容						
平成26年12月14日（日）、赤穂市で開催される「赤穂義士祭」に、備前市及び上郡町から職員を派遣する予定。						
事業 の 評 価						
職員構成の問題等により、本格的な人事交流が難しい中、イベントを中心とした単発派遣に切り替え実施しているが、目的とする相互理解に一定の効果があった。						
今後も長期派遣は難しいが、イベント時の交流は継続したい。						
達 成 状 況						
<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 検討中						
今 後 の 方 向 性						
<input type="checkbox"/> 継続（拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 継続（改善） <input type="checkbox"/> 継続（縮小）						
<input type="checkbox"/> 継続（統合） <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終了						

事業費一覧表 【平成22～26年度】

(単位:円)

年 度	H22事業費	H23事業費	H24事業費	H25事業費	H26事業費	計
総事業費	18,893,223	76,618,625	249,192,888	520,439,184	119,119,000	984,262,920
うち協議会事業費	18,893,223	24,645,875	32,973,738	40,895,584	53,500,000	649,981,420

1 生活機能の強化に係る政策分野

ア 医療

施 策	協定書 (第3条)	事 業 名	H22事業費	H23事業費	H24事業費	H25事業費	H26事業費	計	補助金・起債名等	備 考
地域医療の連携	(1)ア(ア)	医療連携研究会事業	287,971	98,579	676,235	169,158	137,000	1,368,943		
		医療情報研究会事業	2,920	8,580	299,443	—	224,000	534,943		
		圏域住民診療支援事業	—	—	—	1,143,000	1,480,000	2,623,000		
小計			290,891	107,159	975,678	1,312,158	1,841,000	4,526,886		

イ 教育

施 策	協定書 (第3条)	事 業 名	H22事業費	H23事業費	H24事業費	H25事業費	H26事業費	計	補助金・起債名等	備 考
生涯学習の推進	(1)イ(ア)	巡回展開催事業	494,137	482,763	465,603	—	—	1,442,503		
		文化施設収蔵資料公開・交流事業	651,000	—	—	—	—	651,000		
		指定文化財・文化施設等巡リツアー事業	486,000	490,000	460,000	275,225	437,000	2,148,225		
		伝統芸能・郷土芸能大会開催事業	2,350,000	—	—	—	—	2,350,000		
		チャレンジデー開催事業	600,000	600,000	600,000	—	—	1,800,000		
		図書館相互利用推進事業	852,350	—	—	—	—	852,350		
		文化・スポーツ交流事業	—	—	—	200,000	640,000	840,000		
		文化スポーツ施設相互利用促進事業	—	—	—	—	—	—		
		トップアスリート等招聘事業	—	—	—	2,940,000	3,000,000	5,940,000		
		中学校吹奏楽部交流助成事業	—	—	—	800,000	800,000	1,600,000		
		赤穂市文化会館整備事業	—	51,972,750	87,107,150	115,500,000	—	254,579,900	地域活性化事業債	
		備前市生涯学習施設整備事業	—	—	—	14,082,600	20,446,000	34,528,600		
上郡町生涯学習施設整備事業	—	—	—	—	45,173,000	45,173,000	地域活性化事業債			
小計			54,334,87	53,545,513	88,632,753	1,337,97,825	70,496,000	351,905,578		
学校給食の広域連携	(1)イ(イ)	上郡町学校給食施設整備事業	—	—	129,112,000	349,961,000	—	479,073,000	学校施設環境改善交付金 学校教育施設等整備事業債	
小計			0	0	129,112,000	349,961,000	0	479,073,000		
教育:計			54,334,87	53,545,513	217,744,753	483,758,825	70,496,000	830,978,578		

ウ 産業振興

施 策	協定書 (第3条)	事 業 名	H22事業費	H23事業費	H24事業費	H25事業費	H26事業費	計	補助金・起債名等	備 考
地産地消の推進及び地域ブランドの発掘	(1)ウ(ア)	地域ブランド発掘事業	983,964	1,194,637	343,600	305,000	840,000	3,667,201		
小計			983,964	1,194,637	343,600	305,000	840,000	3,667,201		
観光振興の推進	(1)ウ(イ)	観光振興推進事業	4,275,001	7,421,357	563,104	1,465,660	1,628,000	15,353,122		
小計			4,275,001	7,421,357	563,104	1,465,660	1,628,000	15,353,122		
鳥獣害防止総合対策	(1)ウ(ウ)	有害鳥獣対策事業	572,465	2,367,100	595,410	448,782	3,540,000	7,523,757		
小計			572,465	2,367,100	595,410	448,782	3,540,000	7,523,757		
企業誘致の推進	(1)ウ(エ)	企業誘致促進事業	2,119,360	1,812,857	1,841,232	1,876,162	2,300,000	9,949,611		
小計			2,119,360	1,812,857	1,841,232	1,876,162	2,300,000	9,949,611		
産業振興:計			7,950,790	12,795,951	3,343,346	4,095,604	8,308,000	36,493,691		
生活機能の強化に係る政策分野:計			13,675,168	66,448,623	222,063,777	489,166,587	80,645,000	871,999,155		

2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

ア 地域公共交通

施策	協定書 (第3条)	事業名	H22事業費	H23事業費	H24事業費	H25事業費	H26事業費	計	補助金・起債名等	備考
地域公共交通ネットワークの構築	(2)ア(ア)	圏域バス運行事業	24,200	5,343,058	18,136,620	20,560,573	31,200,000	75,264,451		
		JR利便性向上事業	57,240	37,013	49,640	24,100	130,000	297,993		
小計			81,440	5,380,071	18,186,260	20,584,673	31,330,000	75,562,444		

イ ICTインフラ整備

施策	協定書 (第3条)	事業名	H22事業費	H23事業費	H24事業費	H25事業費	H26事業費	計	補助金・起債名等	備考
地域情報ネットワークシステムの構築	(2)イ(ア)	地域情報活性化事業	—	936,579	1,852,200	5,183,850	930,000	8,902,629		
		圏域ホームページ作成事業	—	—	2,378,250	—	—	2,378,250		
小計			0	936,579	4,230,450	5,183,850	930,000	11,280,879		

ウ 地域内外の住民との交流・移住促進

施策	協定書 (第3条)	事業名	H22事業費	H23事業費	H24事業費	H25事業費	H26事業費	計	補助金・起債名等	備考
住民交流	(2)ウ(ア)	定住自立圏フォーラム開催事業	3,199,128	—	—	—	—	3,199,128		
		民間イベント等助成事業	1,034,415	1,596,797	2,013,940	2,520,950	3,060,000	10,226,102		
		赤穂国際音楽祭開催助成事業	—	900,000	800,000	1,000,000	800,000	3,500,000		
		こどもと学生のふれあい活動支援事業	—	—	—	78,011	110,000	188,011		
小計			4,233,543	2,496,797	2,813,940	3,598,961	3,970,000	17,113,241		
移住の促進	(2)ウ(イ)	定住相談会開催等事業	858,680	1,072,795	1,651,898	1,789,981	1,837,000	7,210,354		
小計			858,680	1,072,795	1,651,898	1,789,981	1,837,000	7,210,354		
地域内外の住民との交流・移住促進:計			5,092,223	3,569,592	4,465,838	5,388,942	5,807,000	24,323,595		
結びつきやネットワークの強化に係る政策分野:計			5,173,663	9,886,242	26,882,548	31,157,465	38,067,000	111,166,918		

3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

ア 圏域内の職員等の交流

施策	協定書 (第3条)	事業名	H22事業費	H23事業費	H24事業費	H25事業費	H26事業費	計	補助金・起債名等	備考
圏域内の職員等の交流	(3)ア	職員研修事業	44,392	283,760	119,863	95,365	366,000	909,380		
		職員研修参加交流事業	—	—	—	—	—	—		
		人事労務担当職員研究会(交流)事業	—	—	—	—	—	—		
		専門家招へい事業	—	—	126,700	19,767	41,000	187,467		
		職員交流(派遣)事業	—	—	—	—	—	—		
圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野:計			44,392	283,760	246,563	115,132	407,000	1,096,847		